國 外 眞 E 12 逃 敗 n 魏 6 0

x

5 3

2:

當

時 4 0 寫 皇 眞 帝

1、コンデンスミルク

は一律從價五割程度が

入許可の實施方法は 入許可の實施方法は

変施方法は商工大臣

バリ

駐剳英大使、

佛要路を訪問

一、聯盟規約については一九 に第十六條を修正せねばならぬが大體聯盟國數國の地 域的集團に分類し侵略抗争 の惹起された地域内の聯盟 國だけが制裁行動の義務を

あくとも藻洲に對し現職入量 の三割程度の輸入を抑制する の三割程度の輸入を抑制する

解除方を求む

要に充分應じ得るので政府は品の使用に俟つ事によつて需

聞

濠毛三割程度を

牛肉バタ類等も約五割の

對伊制裁案の

、牛肉、バター其他品目の を関五割の開税増加は全く を同様の結果となる たは對滿輸出を除いて全く 輸出禁止と等しい事となる ・輸入許可制實施方法は先 で輸入業者から商工大臣に

【東京國通】日豪通商關係思 的再檢討さ行ふの必要に迫ら れるに至つた、此結果農林當 れるに至つた、此結果農林當

十界の

十一日總司令部を零陵に、又界の消息によれば白崇禧氏は、農東十二日酸國通」當地軍

志き南北双h

八日湖南省出身のこれのであるが、蔣のであるが、蔣のとも何鍵氏抱込

本桝谷寅吉氏(代議士)同本桝谷寅吉氏(代議士)同本桝谷寅吉氏(僧侶)同本が内常信氏(商業)同年前内地(同年前内地(同年)同年前内地(管吏)同本京中マトホテル(管吏)同本京中マトホテル(管吏)同本京ルビン(衛州の東平郎氏(鐵道省官吏)同本ルビン(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「東京」(101)同本に「101)同本が、「101)同本に「101)同本に「101)同本に「101)同本に「101)同本に「101)同本が、101)可述は、101)同本が、101)同本が、101)の本が、101)同本が、101)の本が、1

は僅か七十支里を隔てム十日 常局の談によれば衡陽縣下に

にその態度は

普爾氏(講遊旅客課 ・ 関氏(同)同 ・ 同)同 ・ 同)同

特派し何健は

及監視を爲さしめて 姓氏を観得すると共 れを秘密裡に長沙に

廣東各界聯合

抗日反蔣大

會學行

9

日三十月六

務局力

を提出許可され翼察政務委員 自は十三日附を以て發令する 事となつた、天津市長の後任 は張自忠氏に決定、尚ほ蕭氏 は張自忠氏に決定、尚ほ蕭氏

3

事

く來満す

介勇忠 〇五社

對豪通商擁護法 一六日發動實施

情勢の變化なき限り 直ちに御裁可を得即日實施 たが來年度豫算に於っ

別項の如くであるが、同委員 擁護發動に關する決議要項は 操護致動に關する決議要項は

園される結果殆ど輸入禁

に對する説明を綜合すると大會に於る政府當局の決議原案

再檢討

中央、

七十支里の間に對

が果して中央につくか、西南が湖南に向けて軍事行動を開が湖南に向けて軍事行動を開が湖南省主席何健氏

氏湖南

萬頭計畫

府樹立の方針を決定した西南【廣東十二日發國通】獨立政

定してゐる、外交委員會首席と言席に李宗仁氏は副首席に確定を表して軍政府の色彩が極めて濃いて軍事委員とになつてゐるが、大體よりに

学氏は若冠であるため首席人 は職米派の色彩濃厚で又陳中 で又陳中 で又陳中

以来對峙し

戦局愈々切迫して

●荷井啓太郎氏(満銀頭取)
●山本源太郎氏(南溝與業)
同名古屋ホテル
名古屋ホテル
名古屋ホテル

▲長谷川進氏(滿洲國官吏)

物として難色がある

が、目下のところ情勢に變化 る事とならう なつた、而して外務當局とし なき限り來る十六日に開かれなつた、而して外務當局とし なき限り來る十六日に開かれ

二、種羊場擴充

等である、因に十年頭種羊頭 敷は四萬七千三百三頭で九年 末に比較し一萬一千三百五十 に對する基本方針を決定する 方本省に於て全國の緬羊飼育 指導技術員會を開催、新政策 指導技術員會を開催、新政策

獨

1

政權

(d)

命救國政府ご

糖聯不參加 「東京國通」イギリスより招 「東京國通」イギリスより招

國際砂糖協定に

十 (東京國通) 満織に對するシンギケート銀行團の貸附金は 來る十五日の社僚拂込みによ つて一應完濟されるが滿鐵で は新たに配當資金並に社員手 當資金として來る廿四、五日 留・五日の社僚神込みによ の本として來る廿四、五日 で、五日の社僚神込みによ ので、一度完濟されるが滿鐵で は新たに配當資金並に社員手

進 本邦糖業會の現狀よりして減 本邦精業會の現狀よりして減って豪文の纏り次第聯合會のので多加は拒絕する事と意見ので表力は拒絕する事と意見がて案文の纏り次第聯合會の於て案文の纏り次第聯合會の於て案文の纏り次第聯合會に多加 長宛に正式回答をなす に見い加

防腐剤ラ含マ

社員手當と配 満鐵借入る て東京関通! ・ 東京関通! ・ 東京関通! た式決定、左に式決定、左 知事更迭 、各地を歴訪視察し月下旬約三週間の豫 左の如く酸表され、地方長官の異動 各関係官廳及び を開意なき意見 であること」なった

任宮崎縣知事 菊山 知事 清水 戶塚九一郎 佐藤 正俊 嘉男 良策

任德島縣

▲ 演過政雄氏(本溪湖警察署 ・ 長)十三日午前本溪湖へ ・ 富田治彦氏(日本人絹バル ・ 7總務課長)同内地へ ・ 大連へ ・ 大連へ ・ 本本松忠氏(三井物産)同本 ・ 大連へ ・ 大地に ・ 大 ・ 大地に ・ 大 ・ 大地に ・

地基逸氏(三井物産)同

齊は、

やつか

数接になったばかりである。 を育はその頃、やつご大學の ではその頃、やつご大學の

不安な疑びの色に光つてゐた 大井の出した名刺を持つて、 大井の出した名刺を持つて、 が一つした。そして、齊が ふ、大井

事を招待し歌送迎宴を催す サインは東る十六日午後六時三 は来る十六日午後六時三 銀行新舊總裁、副總裁並に理 銀行新舊總裁、副總裁並に理 でしらなごさ思った。 かしらなごさ思った。 ないなもの

家が冷たい感じがして不快で しきりにゴールデンバットを しすべてみた。彼は何かこの くすべてみた。彼は何かこの が冷ないがった。大非は の出て来るのを待つてゐた。 答の下に泣く、廿三 ひますから、あらかじめお願 非常な逆境にゐられるから たはきつき御迷惑になるさればきないへば、な 決して御心配には及び

んにお目にかり 齊はまだ默つてゐた。 O

百三 益 あ £

張理孫財政相招宴

資上 於)

悲

がおわかりになりませんか? げたいで思ふのです。 、留置場できいた青年の非は、少しく皮肉に微笑 ら全くわかりません。 だその弟さんが目 か、僕のいふこさ しく皮肉に微笑 心になるさ思 いった。 SAC & XISK & XIS ゼルヒネ中毒治療剤モルダイン 開店 女



感覺

東一條通り 電話(3)二四三六番

植村製覇所

世 来數次に亘りデルボス佛外相 政 としきりに協議を重ねてゐる れ か十一日時にブルーム中等・ 除並に聯盟改組に関する英國 政府の方針を通達したと解さ れる、英國政府の方針と傳へ られるところ次の如し 一、制裁案をイタリー政府に 對する層熱策として用ふる ことは出來ぬから寧ろ制裁 ことは出來ぬから寧ろ制裁 なる。 要する目を保証規約を全面は関連規約を全面は

国外御脱出の エチオピア皇帝

さメッセージを設した ・ では、
・ では、 には、
・ では、 には、
・ では、
・ では、 には、 離滿 に際 兒玉本部隊長メツセ

吾等本部除料兵、二箇年に ものあり然りと雖盟邦の國礎 ものあり然りと雖盟邦の國礎 ものあり然りと雖盟邦の國礎 と正道樂土の完成近きに在る を確認し安んじて滿洲を去り と確認し安んじて滿洲を去り

の努力就中幾多陣務勇士の功率じ電大使命に邁進せる皇軍ざる所なり、これ偏に聖旨を 本部歐に對し駐滿間不斷に對し財滿間不斷に對し民各位の幾少は一次。 一次を表示。 一定を表示。 一定

館色が魅った。大井

天津市長 張自忠氏に決定 張自忠氏に決定 住に伴ふ後

載つてゐない弟さんがおあり が、あなたには戸籍の上には が、あなたには戸籍の上には

で 一段落と見ら で 一段落を 種内の の 翼察 政権内の

省主席張自 氏の天津市長就發國通】察哈爾

保持することを 面的に修正し聯 で

移牒される段取りと解される 提出、理事會より更に總會に 英國政府は先づ聯盟理事會に

の標語を掲げて人氣を集めてて續々集合中だが「對日抗戰」等外交」「恢復東北之失地」等外交」「恢復東北之失地」等外交」「恢復東北之失地」等

ソス政府が同意を表明すれ以上英國政府の案に對して

ばラ

婦女協會員、農會代表、各種學生、鐵道、海員等の工人、學生、鐵道、海員等の工人、

雨薫部の指導 下に十 三日午 職合の抗日反蔣大會は省、市 民衆團體を網羅する廣東各界

開する事と

となつて居る 中から一大デモを展 日は重要決議を行つ

察哈爾

省主席

劉汝明氏に決定

長)同一名 長)同一名 本山内繁氏(高貨物課長)同 人可邊旨氏(同貨物課長)同 人可邊旨氏(高貨物課長)同 人自田壯次郎氏(鐵路總局)同 人由田湊氏(滿鐵)同本溪湖へ 本森景樹氏(安東地方事称所 長)同奉天へ 長)同奉天へ 長)同本渓湖へ 本京景樹氏(安東地方事称所 長)同本天へ

▲ T・ B 台灣支部主催鮮滿視 東京時好會視察團十一名同 七時率天へ 同七時率天へ 同七時率天へ 同七時率天へ

が、あなたの弟さんのこさにない。す、もつさもその弟さんのこさになる事情をきいてみるさ僕になけから一度あなたにお目にかかりたいっさ思はれまなから一度あなたにお目にかかりたいさ思って、色いのでは、 『僕は大井三郎ってものです

香は、へんに不安な離をしてあた、大方、喬が何か問題 であた、大方、喬が何か問題 てすが……」

がね、 大井はまたきいた。

せんよ、僕は自分の生活 他人の家庭のここをどうして や、僕は何も强てそんな 活動りは

新しい饗送のやうに細心な注 新しい饗送のやうに細心な注 意をもつて尊重してゐた。 『僕が高山です……』 『様が高山です……』

話が、もし嘘であるさずれば それはここの主人の態度です ぐ分るのである。今會見して みて、それが分つた。この主。 みは、一家の深い秘密を飽ぎ がある。 も押し隠さうごしてゐるのだ さんて方がおありてせう、 がね、あなたのお妹さんに玉

給

急 募

(二)

署員約十五名が擔任直ちに準 脳級竹操、同片山正雄三氏外長關東局理事官柄原忠家。同長嗣正雄三氏外

皆さんの腕時計は

一十和照

日四十月六年

時の記念日』の調査に停止多數

確ですか

?

出る

(二六) に夫々全治三週間の 重輕傷を負はせた、尚右立石 重軽傷を負はせた、尚右立石

一石信一(二五)は十二日午後 連中郵便局前を自轉車に響油 走中の郵便局購買組合糖人劉 走中の郵便局購買組合糖人劉 走中の郵便局購買組合糖人劉 して略上は時ならぬ醬油洪水 (二七) は右立石の跡を追つ部臨時雇 員運 轉手館 野青吉 本 大經路三號馬車夫孫長海(三四)が午後零時十分頃中央通 対京神社前にて日本人客を降 し孫が乘客の大梯子に馬が驚き、 中央通を北に奔走紀町通へ右 中央通を北に奔走紀町通へ右 建して来た馬車に衝突業客と 付南道生れ市内鐵道北興順街 村八號居住黄河龍(五五)同 人息子學順(一六)は熟れも

級を開か

せやうど商店

泊は砂

が、當日一千十一名に就て調 台 とない、當日一千十一名に就で調 か である 守 で通行人の時計の時間を規正 進 に通行人の時計の時間を規正 走 に通行人の時計の時間を規正 走 に通行人の時計の時間を規正 走

日

20五正1 58分確 32以 32内 92の 23も 6の

517以内のもの

一ヶ月間

兩派出所前、公設市場內の四ヶ所で開始する 築類の消毒を今朝から入船町四丁目、泉町、富士町 滿鐵衛生際では恒例により附屬地內に搬入される硫

食

料品檢查

野菜消毒始まる

合だ、と武

京

△その二

京籍京都府下京區西九條戒光 寺一番地、新京日本橋通り横 山洋行店員肥田蘂雄(二六) は先月五日密山小學校へ集金 にいつたまゝ二百四十八圓三 十五錢を集金横領し行方を晦 ました 集金を横領

時五十分より三十分 お垣陽東軍顧問は來 放短 顧問

本全國へ「輝く移民の將來」間新京放送局より全滿及び日

市内室町の池坊茂華道教授藤井カッ子女史社中では、今回井カッ子女史社中では、今回井カッ子女史社中では、今回井カッ子女史社中では、今回港道家元華老職塚本先生及び大連橘會顧問清水先生の來京を機として、十四、十五兩日記念公會室に於て生花大會を開催塚本先生指導の下に一般の批判を仰が隨意観覧に供す

現代洋畵壇の重鎮鶴田吾郎畵

畵伯小品展

り吉林方面に寫生旅行中であ旧は目下鐵路總局の依囑によ

時でもデッサンは藤田嗣治書伯 の特價を店頭に山積し、尚十 一を でもデッサン・バステル 油繪小品 市内日本橋通りの老舗みしま デッサン・バステル 油繪小品 市内日本橋通りの老舗みしま 一般の教授である、作品のうち しを行ふが前例ない奉仕値段 したの教授である、作品のうち しを行ふが前例ない奉仕値段 一週間改樂記念の夏物大寶出 たので十三日から二十日まで 一週間改樂記念の夏物大寶出 たので十三日から二十日まで 一週間改樂記念の夏物大寶出 たので十三日から二十日まで 一週間改樂記念の夏物大寶出 たので十三日から二十日まで 一週間改樂記念の夏物大寶出 により、高と 日本基督集會

て推賞されておりパステル又と共に日本洋畵壇の双壁とし 出し好評 噴々たる

サイ教會』

組合教 めてゐる

京キネマ招生 一日まで通用の新

日の出を拜す集

多大の感銘を異へて降物を強調している。

中銀前副總裁夫人新京文部長中銀前副總裁夫人新京文部長

着

梅話二・七〇 瓶譜一・八〇

銃後の花」を齊唱して午後

六月十四日於同教會日本橋通 八三(電三五四四九) 一、朝拜 午前十時十五分より り 設教『愛の一鞭』渡瀬牧師 かり 十四日(日曜)午前三時五十分の西公園忠魂碑前(新京日の出時刻三時五十六分)

鐵工頭盗む永樂町一

芳醇

な口當り

明朗な酔心

地!

地柴田五郎氏方層

▲宣韶記念日滿合同運動會 中前九時,西公園運動會 本村同業聯合會、午前九時、西 公園海事記念碑前 本村同業聯合會、午前九時 公會室 ◆飲馬河釣魚大會、午前九時 公會室 一十分出發 一十分出發 一十分出發 一十分出發 一十分出發 一十分出發 ▲吉林娘々祭第三日

一間堡鰈鐵橋工事現鐵工頭才 「三二」は先月二十六日か らニューマックハンマー三個 時慣四百二十餘圓の保管を命 ぜられたのを奇貨に之を盗み 姿をくらました

姉

妹

酒

滿洲菊正宗

瓶詰

八〇

二荒芳德伯

六日來京

本校務擴張の爲め左即

移轉擴張廣告

新京東三條通二九番地南廣場高田洋行舞り新京東三條通二九番地南廣場高田洋行舞り 新中等科 各三十名英語 晝夜學 初中等科 各三十名

社中の生花大會

二、前九時一、日曜學校

三、傳道 曾 午後七時半 来 聽 歌 迎 本 歌 歌 迎

一、夕拜 題「未定」 一、朝拜 自午前十一時十分一、朝拜 自午前十一時十分一、聖書學校 自午前九時一、聖書學校 自午前九時

六月十四日午

本六・三〇秋高曲(東京)件奏日本ビクター管楽圏小野巡外▲六・五〇尺八(東京)一二三鉢返調山口四郎 ・東京劇場より中編=修禪 少年物語岡本綺室・作

本溪湖警官除 祥子匪を討伐 映會を開催すべく準備を進め 要では二荒伯の來京を機に座 関では二荒伯の來京を機に座 の本京の冒新京 が高少年 所澤臺灣間

メ イ ヤ 街 電(3)二五六七 電(3)三〇○四保證人を要す 保證人を要す

維貨商 二 浦

洋行

申込は 電(3)三一二七 室敷六事務所住宅向室敷六事務所住宅向 マーニー

たので、總攻撃を開始し交職 出動前進中紅旗溝部落山中に 出動前進中紅旗溝部落山中に の警官隊一行は直ちに討伐に 密告に依り本溪湖署では午後撃せんと密襲中なりの滿人の撃せんと密襲中なりの滿人の 統不明の匪賊二十餘名が潜伏石橋子驛西方キロ紅族溝に系 七時上村宮崎の兩鬢部補指揮密告に依り本溪湖暑では午後 「所澤國通」非常時空の躍進 に日夜猛練智を續けてゐる所 源飛行學校の學生六名は辻大 居指揮の下に來る廿二日より 五日間新偵察機五機に搭乗、 所澤、張騰間六千二百六十キ ロの長距離往復飛行を挟行す 往復飛行 関係 素挽物本人 来院 セコ 一般 房及機嫌ニ経験アル研 優房及機嫌ニ経験アル研

泊二食付金一

滿二十銭

明治ダク

對實業庭球

と は 日原員三十八日乃至四十五、六・だ官廳では満洲関が十八日頃 容 さく(傭員日敷の三十五、六・だ官廳では満洲関が十八日頃 容 きなく(傭員日敷の三十五、六・だ官廳では満洲関が十八日頃 容 日、月給者三ヶ月乃至四ヶ月 本月中にはそれが \ 支給され 君 といつたところで地方事務所 る筈で沈滯の商店街もばつと 五 関係で總額約二萬圓、各ヶ所 活氣を呈するだらう て

| 互の縁光分注意して欲しい| 君だ、申上るまでもないが細に

二十餘分にして人質四名を奪

容易でない

遺留者の大部分

ても一見明瞭に處理して置か

在京日本側官廳庭球チームの在京日本側官廳庭球チームとの庭球試合は十一業チームとの庭球試合は十一業チームとの庭球試合は十一業の工を接近した難び強豪實で開催學星堂々と戦ひ強豪實との工を接近した勝した戦後に大勝した戦後に大勝した戦後に大勝した戦後になった。

 \equiv

お問合せは

電(3)五四二八

皆

あこが

0

賣 大商店、 新京ダイヤ街 病院、 アペー

物所 六富

病 海 0 か ム完成

募集

第 モ 回娘子軍 港から 0)

向

0 近日上陸乞御期待

凉 溢 3 3

午後十一時難石効なく遼に死去した、葬儀は十三日午後二 時から水仙町二丁目二番地の 日宅で營まれた 巡查次女 ねて善生堂醫院に入 最高 二三度八 第一時四十二分 第一時四十二分 南の風雲雨視線 各 金二十五関より 種豐富入荷 是非例一 新 を 乞

下和四郎に

日)

さものがあらう 図々都の市民として留意すべ きものがあらう

断然増加する附屬地内の日本 を上較して内地人女は一萬八千 である。なほ図籍別附属地内の日本 と比較して内地人女は一萬八千 に多く男子の總數は一萬八千 してゐるが、滿人は相變らず してゐるが、滿人は相變らず してゐるが、滿人は相變らず してゐるが、滿人は相變らず してゐるが、滿人は相變らず してゐるが、滿人は相變らず

機關區班結成

は停正した腕時計を持つて步此の調査に於て特に目立つの

(三) 2五0円 3 乗1分分 3 乗1分以 2 を0以 2 も0以 5 も4 1 の 9 の 1 0 も 2 の

合外滿朝內國 國洲鮮地籍 計人人人人別

馬車内忘れものが

めつきり殖える

食店カフェ するに鑑み するに鑑み

一十日十一日の兩日

職造元並びに販

各種傳染病猖獗

成績相變らず不良

賣店等飲食

査の結果ピールサー物の一斉取締りを

泉れてゐる、

ハ月に入って都合五十四件

曜

(日

通事故が三件あつた

交通事故三件

青年教育に献身的努力を捧げれる新京青年學校では今回新京 職長尾機關眞長の理解ある援 助のもとに同校機關眞扱を結 でその全部が列車乗務員とし て來る十月より勤務せればな

近頃のうつとしい、天候の陽 客さんで携帶品を遺留する人 が殖えた

六月

△その一軍司令部副 部臨時雇員自動車運轉手立

皇帝陛下の重なる御慶び

百八千四

爾中尉と

五格々姬も

多數の

見送り裡に

卅五體無言の凱旋

念を捧げ、護 めかけ、護 が関旗校 に 関係 が関連校

と
南名からの見送り

無言の凱旋列車を瞬間の英麗に敬虔の

サ月月日の出 新南の出 新南の出 新市の出 新市の出 新市の出 新市の出 新市の出 新市の 最高

二〇度

仮の生徒見宣、一般同女、室町小學校、

において開催、來賓として開 東軍兵事部長山本大佐、地方 事務所高山主事其他數名出席 関防婦人會三分會員 新商、敷 島高女四、五年生其他聽集五 日餘名の参集あり、二時廿分

る譯である

において開催。来常

田來るのが一日遅れ促つて得意の人、失

ですが、皇帝陛下の御思召四格々姫と趙中尉との御婚

四格々姫の御澤式についで近る

高州関皇帝陛下の御令妹に當 につき、宮内府の側近者は左 につき、宮内府の側近者は左 側近者語る

たから探してくれと甲出た人 日迄に、遺留し一になつてから九一

票抽籤延期

のは左の通

本清酒十六本▲食料品本清酒十六本▲食料品

敗、混濁せるもの 混濁物は全部廢棄 一般見され係官 隣ルテホ京新目T二町士富

に就いて」と與する講演會は で 大日本國防婦人會總本部理事 大日本國防婦人會總本部理事 中村大佐講演會修了 箱▲瓶詰八個 ○ 二 ○ 三 折北飯栗梅岸吉池

貸

御希望の方は電の二二二七番 (水道風品附)

情

モダン 電話(3)五七三三 座

新京日日新聞社但し大人一枚限り)

新京日日新聞社

券

讀

者優待割引

券

帝都

「釜はずの四郎版」上映中有効キネマには歌師の子」「怪傑デアブロ」

帝都キネマに

四郎巌」上映中有効の子」「怪傑デアブロ」

本紙讀者優待

間 ▼ お 実実の 評判 △ 松竹大船、高等に、流轉の女の役を買って出る佐々木啓祜の監察といふ流轉の女の役を買って出る佐々木啓祜の監察といふ流轉の女の役を買って出る佐々木啓祜の監判を作品、實際良輔のオリヂナルものにより、大都市計畫の騒性となつて滅び行からとしてゐる郊外の負して見やらとする試み、主演者を助けて新井淳、吉して見やらとする試み、主演者を助けて新井淳、吉して見やらとする試み、主演者を助けて新井淳、吉して見やらとする試み、主演者を助けて新井淳、吉して見やらとする試み、主演者を助けて新井淳、吉して見やらとする試み、主演者を助けて新井淳、吉とにより、大都市といふが用いられてある、長春座次週封切、スチール型式が用いられてある、長春座次週封切、スチール型式が用いられてある、長春座次週封切、スチール

帝都キネマ十三日よりの番組は昨夕刊所報の如く「大衆娛」は昨夕刊所報の如く「大衆娛」として在の如く、メトロ、西班牙コロムピア、新興時代劇の封切作品三本を配した和洋混合版やかな温成であるが、浩新な初夏を飾るにふさはしい好番組として家族連れの観賞に喜び迎へられるものがあらう、本紙讀者には割引券を刷込み優待することになつたからせいで、御利

ヤッキー・クーバー主演、サオーレス・ペアリイ、ジウオーレス・ペアリイ、ジウオーレス・ペアリイ、ジウオーレス・ペアリイ、ジ

自石明子主演 をはずの四郎派」 「逢はずの四郎派」 「後はずの四郎派」 一篇は全然別個の

けふから常都キネ 西班牙コロムビア日本版、フェルナンド・デ・フェンデス監督作品
「全傑デアポロ」
ラモン・ペシタ、マルチネズ・キャサド主演
ス・キャサド主演
ス・キャサド主演

到底勉學の餘暇を得難く一部御反對の聲をも

向ふ三ケ年新京本店の食料品小賣を閉業致す事に決心致しました甚だ

いますけど何卒宜敷御諒祭

の上將來共宜敷御力添

達成を相詔り度と日頃念願致して居り

ましたが何分現在身の繁雜には

依つて需給兩者の

理想

顧みず

統制し現代小賣營業の合理化商品學等の研究 扨而此度甚だ突然ではどさいますが時勢に鑑 ◆…これは先頃の「功ちやん」の興行的成功に味をしめたた動にもとづいて此の映書から原作的成功に味をしめたさらすることによってとれるが、余りにも知れ過ぎであることによってといふようとするが、余りにも知れ過ぎであることによってといいるよりとはいるよりをであることによってどれるが、原作作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。原作家に要った。



野医院 兒科専門 南部宫五四三番 新京商業学校正門

07

V

2

ユで氣輕な事は全満

ンダン

性まざれば成功近きにあり 所と辛と成が吉 へ白の人 漁情は人の貸め ならず已に復りて幸と成る 辛と壬と癸が吉 ・九紫の人 身の分限を忘れ ず整整へるが安全病災注意 甲と乙と己が吉 1と等と王が吉」と等と王が吉」と等と王が吉 東一條橋詰

上品な明るい家族的舞踏場

日の

間

館會京新

理料御

-tO三(3)話電杵 新



蓄音器

小經路



調酢昆布發賣元 サポミシトロン

支店和洋御菓子司支 店 食 料 品一

司 部

電 吉 電吉(3)

三三 林 二林 二二

六六 停 O商 一O 二二 車 六 七六 場 三^埠 五七

返品 返金、自由

電

六四

五八

新

中期

カルケット

約

店

ガ月

り柱

TC.

理



昻 收 佛 丁 日 宿 滅 卯 曜

日四十月六日五十四雪

書賣刷 用圖灰即

伏て

御願ひ申上げ

賜り

ほ今後取扱ふ商品は左の二種類に限定致し

ま

すが倍舊の御愛顧賜り度してる次第でございます尚

たく弦に紙上を籍りて御願等御挨拶申上

勝手ケ間敷は御座



開業以來格別なる御愛顧を蒙り御陰を以て日

夏の砌

b

お得意様には愈々

御

拼

祥の段御慶

び申上げ

ます

幣店

儀

りました事は一に各位

0

御引立

0

賜と厚く御

一般申上げ

ます

に月に繁榮致

今日に至

み本支店三ケ所

の營業を

走 ¥]

番四〇二三 :話 電 丁二可



老松町四 地 の 愛い人を望む

IJ

中

迄

キす向

夏の

候皆々

樣には益々

御健勝の事と

は種々とお世話に登れ

預儀ま

八歲迄

どうぞ御氣待を願ひます

滿洲式接待 金事の理想郷が生れます 気安い家族的サービスによる 脱却して

ヤ街の

角に

キ・和洋箪笥・籐セット各種 簞 笥。卓子、机



話 入金 荻一种 至急開通申込金でも既設電話同様御融 選至急開通申込金でも既設電話同様御融 選

三六(市場前) 電 新京蓬 萊町 T 目

電田 番 通 番地 三三 名

> 高特 Ξ 夏 六 年 0 最 新

帶 庭 用 陶 ス陳 品 別 庫

各位樣

キャピタル在店中及喫茶ナ、營業中は種々とお世話に預 は前にも増して御後援の程御願ひ致します がましては同氏のお奬めに從ひ助手として活躍致 たに就きましては同氏のお奬めに從ひ助手として活躍致 たに就きました疎遠勝にて甚だ勝手の事と存じますが す事となりました疎遠勝にて甚だ勝手の事と存じますが はの度青木ダンスアカデミー豊樂路教授所設立致しまし のまして厚く御體申し上げます

..

電話は暫時局預けしましたから假營業中は掛りません 御

在 處





粹生 子っ戸江の 藝 に最負御ぞうごたし ま 9

しなてもいよの地心居敷座御な

行銀金正) 八三通橋本日

思恋性の素人だから現地に行っておりにまた上でなければ何も言べてからゆつくり具體をで抽象論を対象で、当時のではまだがあるが、いづれにせまた分は一次ではまだの強力をではまたが、ががれにせまたが、消別の金融のではまたが、消別の金融ではまたが、消別の金融ではまたが、消別の金融に行っているが、ががれたせまは現地に行っている。 思恋性のではまたが、消別の金融に行っている。 なが、いづれにせまた分は、消別の金融ではまた分のでは、消別の金融ではまたが、消別の金融に行っている。 というなどはまたが、消別の金融にでする。 というなどはまたが、消別の金融に行っている。 というなどはまたが、消別の金融に行っておりませまではまたが、 はまたが、がないませまでは、 はまたが、 はない、 はない、

新京での 小賣物

若干下落示す 本年五月中旬の調査

日四十月六年一十和昭

方的特產貨物

0

國線輸送平調

は行はぬ複様であるに缺員中の中西監査役の補充

食料品(十種)

前年间月を

-101.

Ŧî.

新興毛織

割二分据置

新京輸入組合

軌線の荷動狀況

▲ 金州會事務所增築工事 決定額 五千六百五十圓 前 田 組 前 田 組 前 田 組 可用 和 日今本。

(開札十五日)
(開札十五日)
・中央銀行

★大連權度所愿舎新築工事(開札六月十八日) 録青▲ 二九七 動筋力限限限市 ニル・ 低 金

本大阪棉糸 十月限 元4.00 十月限 元4.00 十月限 元4.00 十月限 元4.00 一十月限 元4.00

台地商品市況

(株古小麥 八四仙二分一 八四仙二分一

番五五二四(3)電

業組組

随入時党

新京/イヤ街老長町一大朝日頭 電話三一二三二九大朝日頭 二一一二三二九大朝日頭

在物病科 女 醫 松 并艷子

產科婦人科增設

疊 0

御用は 絶對信用のできる

親殿兄弟商會

曹舎祭路明

現地で具體案を より

新中銀總裁田中氏車中談 0

清州銀行及正整銀行扱加入 者四名、五月末現在組合員 一三一名、普通出資口數三 二八八口、特別出資口數三 二六四口、合計四六五二口四、出資排込額 五月末現在普通出資排込額 五月末現在普通出資排込額

第九 二十萬五七錢 長公 開東州慶官舍新 高關東州慶官舍新 高關東州慶官舍新 高

(短期) OIL. EN

十二日まり か

積資 立本 金金

億圓全額拂込済

億二千九百十五萬圖

変配人代理 二、たれたれ

大港坡ア 京

本親 位切 退治御用命八

★経路第三市場二十號 八社

新京東二條通七八 館原田組

電話。一三四四五章

んば ふや

どか

待遇規定改正

【東京國通】我國の重要輸出 を惹起することは事業會社中 を惹起することは事業會社中 を惹起することは事業會社中

争議で聞えた鍾紡

▲關東刑務支k

▼所倉庫新築その

際所阿福 大東鐵吉 草 東銀道 川場 大東銀道 川場 エエエ エエエ 本組 田 マー・エー エ 和 田 田 本 本 和 組

落裝傳札工家

商况欄

海外經濟電報 高數銀塊 一九片八分七 同 先限 一九片一六分二 和育銀塊 四九餡比八分三 和白山四分三 一九片一六分二十

上映時間切られお富

シスコ

にに食

機械床 敷

五士

0+

兒玉

新 型

紅松强調呈す新京の木材市況

新京名物 室町二丁目公學校前(類股ビル裏側) ぶたまんぢゆう 海利多費(出前は最も迅速に) 電氣燒

登金招入上の諸問はあれこれと喧騒を極める▲資本は利潤を見て態度 を決する、利潤の制限は資本に対しないた がし最も近接する日本から思 かし最も近接する日本から思 がでいては、新興 がでいては、 がでいては、 がでいては、 がでいては、 がでいては、 がでいては、 がでいては、 がでいては、 がでいた。 がでいた。 はいた。 がでいた。 がでいた。 はいた。 がでいた。 がでいた。 がでいた。 はいた。 がでいた。 がでいでいた。 がでいた。 がでいた。 がでいた。 がでいた。 がでいた。 がでいた。 がでいた。 がでいた。 がでい □ 出來高明 出來高明 上海香

場

子の師獣猛

滋養美味

機

械工

具

天下一品

電

氣

衛生、清潔

冷藏

- 満商出張して取引を開始

示談 九千五百圓

第二二車の豫想に廻らず他線 強にありては社線より季節向 雑貨類を主として一九六車、 北鮮線より岡佳線方面向セメ ントを主とし二十八車の入込 を見込まれてゐる、又ローカ ル貨物たる木材砂利セメント の主體をなすものにして平 場の主體をなすものにして平

冀東各縣

生產品

輸入

標軌線の荷動狀況に就ては港 のるが、荷動には反響せず現 を騙するのみである、然しな がら天候の定らぬ昨今の狀勢 がら天候の定らぬ昨今の狀勢 がら天候の定らぬ昨今の狀勢 がら天候の定らぬ昨今の狀勢 がら天候の定らぬ昨今の狀勢 がら天候の定らぬ昨今の狀勢 がら天候の定らぬ昨今の状勢 がら天候の定らぬ昨今の状勢 がら天候の定らぬ昨今の状勢 がら天候の定らぬ昨今の状勢 がら天候の定らぬ昨今の状勢 がらずれば之亦大なる期待も とりすれば之亦大なる期待も とりずれば之亦大なる期待も とりずれば之が大なる期待も とりずれば之が大なる期待も とりずれば之が大なる期待も とりずればとが大なる期待も とりずればとが大なる期待も とりずればとが大なる期待も とりずればとが大なる期待も

本月中貸付額 九四件 金一〇二、七五九、〇〇 一回收額 八七件 金 八七、〇九〇、〇〇

總平均(二)

【大阪國通】新興毛織會社では十一日決算車役會を開き、配當年一割二分据置を決定した

(開札十三日) ◆特許發明局電鈴設備工事 ◆開札二件共十五日) ◆開札二件共十五日) ◆開札二件共十五日) 村園立衛生技術廠增築援房排 水裝置工事 ◆関立衛生技術廠增築援房排 水裝置工事 (開札二件共十七日) 長院村二年共十七日) 一個別立衛生技術廠增築援房排 水裝置工事 (開札二十四日)

洋室

の設備あり

日本橋通六十三番地

フランスホテル

六月十三日

落札 一萬八千三百圓 八·406·00 草 場 組 八·406·00 顷 本 組 八·406·00 顷 本 組 川·10·00 顷 和 和 和 谷 和

▶目科業營◆

橋州州國運四 電電電電工

(日

今期決算を査定

信託社

【東京國通】 古性曹達市價學 落の結果囊に年六分より三分 た大減配を行つた北海曹達株 大會社(三井系)の跡を襲ひ 十一日の定時總會で保土ヶ谷 中割に減配、今後曹達會社は 一割に減配、今後曹達會社は

保土谷曹達減配

末を以て勇退、後任は安田善二日午前十時、重役會を開き 今期決算案(配當年五分据置) を査定、廿九日の定時株主總 會で承認を求める事となつた 信後で辭意を洩らして居た現 社長安田善次郎氏は愈々今期

高組 組 婦人科・婦人内科 電3.5397番 東二条通交番職

規律によらればならないであらう 本統制経済の建前から、 一事業一系統主義によつて態 容を樹立しつゝある滿州の産 業形態ではあるが、その主要 な投資は日本に求めねばなら なりでにある。いかにして兩者 の下にある。いかにして兩者 の形調を合せるかが第一の問 歴だとする論を見て浮ぶ熟語 を関する。

三C弗八分一

第三回 第二回

9 . 15 5 . 0 5

覺の王座

 \Diamond

新京稅務

署きの

ふ店開

5

淵麒,兩中尉)

0

同じく六十二本以上のも

對濠通商擁護法の

王要項目决定す

輸入許可制、

輸入稅增加及び

輸出許可制を施行

前、リース氏に告げー、總である。 きである。 きである。 きである。

にける經濟的援助にける經濟的援助

州人に理解され

の經糸審度六十度未満のもの経糸審度六十度未満のも

新京院

務

(1)

曜

御研究のため今秋九尉は更に高等兵學を

十六日 開催 せん 野盟理事會議長イーデンイギ 野盟理事會議長イーデンイギ リス外相は來る六月二十六日

「英國だからやるよ。

中の溥傑、淵麒兩中 として軍務に御精陶

月再び日本に御留學

日)

本の陸車士官學校を御卒業になられて以來皇

歸りになり軍政部附

というない。 はいます では、 の外に生産統制を行ふこと」なった、 では、 の外と組合が加及組合を中心として生物の関連四十二組合、登錄機機十二二、 の外と組合が加及をするとなり、この外と組合が加入を受ける組合は、 で、 の外と組合が加入を受ける組合は、 で、 の外と組合が加入を受ける組合は、 で、 の外と組合が加入を受ける組合は、 で、 の外と組合が加入を受ける組合は、 で、 の外と組合が加入を受ける場合は、 で、 の外と組合が加入を受ける場合は、 で、 の外と組合が加入を受ける場合は、 で、 のからが、 相當の日数を要する。 で 後五、 ないのからに、 で、 のからが、 相當の日数を要する。 で で、 のからが、 相當の日数を要する。 で 後五、 ないのからに、 で、 のからに、 のがらに、 のがらに、

聯盟理事會

また次の如くにも言はれた 「半ばはリースロスに相談 したふうに、半ばはさらで ないやうな顔をしてやつた のが、あの銀國有令さ。一 千萬ポンドの借験はあるが 如く無きが如き、が本當の ところだらら。巧く行かぬ ところだらら。近く行かぬ ところだら。近く行かぬ ところだら。近く行かぬ

五四三二一

等等等等等

(三名) 二名

購衣年置ス

反本個宛宛

(四名)

高等兵學御研究に今秋出發

三、双人紋織 曲五分間の経 糸密度五十八本未満のもの四、双人無地緒子 五、双人無地緒子 と ス人無地緒 (代縮緬除 く)

再溥

潤麒兩中尉

び日本御留學

改革案方針を決定

拙遠主義を排

り愼重立案せ

旨を要認外相もこれを諒解したい

會議終る

規

定

一、應寡は官製ハガキに限り左の機式により明記のこと何十何分何砂か(全コース百二十三キュ約三十一第一着チームの全所要時間は何十何時

題間

意見一致せず

日百丁月六年一十和昭

はな設定過程を経て來たもの 大體を を認められる機構に就ては を認められる機構に就ては を認められる機構に就ては で度よりその改正質現を期 年度よりその改正質現を期 年度よりその改正質現を期 を認められる機構に就ては を認められる機構に就ては で度現を期 を認められる機構に就ては の改正質現を期 をの改正質現を期

で社會省、 (新年) 大田 (東京) 大田 (東京)

決定し

沿革を有し極めて複雑多岐年内閣制度創立以來の永き一、現在の行攻機構は明治初

ダ海峽防備會議へ

日本も参加せん

十二日の閣議で正式に決定

僚は

輸出人絹織物

生產統制施

支那のあの幣制改革、それ 大のやらな間答が當時行はれ 大のやらな間答が當時行はれ

賞

品

(1名)

術二

時一

~~

貨幣戰爭

Ø

一斷面

の全所要時間

昭和十一年六月廿日付郵便局滑司あるものをもつて有効とし締切したるものは無效とす。 所要時間その他の文字を書き入れたもの、所要時間その他の文字を言いる。

【東京國通】 内閣調査局では 十二日行政機構刷新に闘する 内田兩調査官試案に基き討議 した結果大體左の如く調査局 した結果大體左の如く調査局

済外法權一部撤慶調印を了し たので大使館では千三日午前 九時より全滿司法領事會議を 開催した、會議には新京花輪 中島、奉天小泉、大澤、哈爾 中島、奉天小泉、大澤、哈爾 申あり、正午一旦休憩午後は 前日に引續き午前八時より 開催、源田財政部税務司長よ り訓示あつた後各局よりの答 東中津海副領事出席蔣州國法 別の日本人適用に關し打合を 別の日本人適用に關し打合を 別の日本人適用に關し打合を 奉天稅捐局長 會議第二 支那幣制 日 會社決算 製粉他 各

下 年九分据置 年九分据置 年九分据置

ど蔭の演出者 改革 京新回二第

(强 面)

(面 表)

きがは便郵

ン大會

H

日

事務所

御中

新

聞

新京日日新聞社內 京吉マラツ

何十何時間

IJ

F

初局はコムミユニケを以て次 前状を**競**した、同時に聯盟事 のに決定十二日各理事國に招

記者園との一間一答内容左の 明、リ氏は類りに支那に於る 日英協調のみを力説される 様だが英國は支那以外の諸 國との通商問題に関しても と協調するの意思あり

答、支那以外の課國に對する 通離問題に關する日英兩國 の協力方法如何といふ事は に於ても論議された日英會商 に於ても論議された日英會商 に於ても論議された日英會商 の製品の氾濫によるもので の製品の氾濫によるもので

記者團 ス 支那、 日英 口 5 ス

問題に就き渡り

合ふ

間する事が肝要

一答を試

和洋家具

家具工場

當 Ξ #

町六丁目 四

舒(3)

四

就町二丁目

(太子堂東三軒目)

サースロス氏は表る 大田大京以來約一週間に直つ で表で大工、紅田中であつたが、略々成来を視 中であつたが、略々成来を視 中であつたが、略々成来を視 中であつたが、略々成来を視 中であつたが、略々成来を視 中であつたが、略々成来を視 中であつたが、略々成来を視 中であつたが、略々成来を視 一時間に直つ で日本記者團と會見、同氏の で日本記者團と一時間

敷設すべきの少ない。

きものが中 だと考へるに最も鐵道

Op スの 用命は

面电

御用命は是非當店へ

| 特別 大割 引 | 「大月 日より六月三十日まで | 「大月 日より六月三十日まで | 「大月 日より六月三十日まで | 「大月 日より | 「大月 日より | 「大月 日より | 「大月 日 1 | 「大月 日 2 | 「大月 日 3 | 「大月 日 4 | 「大月 日 5 | 「大月 1 ネオンサイン 塗裝 亀岡着板 電話 ③二九四五番 製設 作計



た。」には百も東知にながら際にしている。今度は興奮せた。」にながら際に見る。

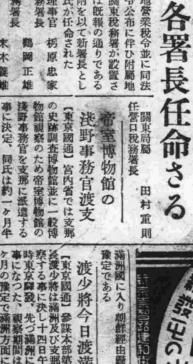
天津、北平等を視察の上上海に直行南京、青島、

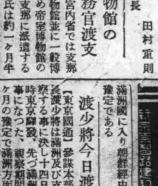






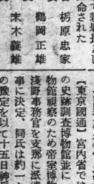








可制を か品は小麥、穀粉及び小 のもの、襤褸の中毛又は毛入り 変粉、羊毛屑又は古羊毛 正輪八許可制の施行期間 が最大許可制の施行期間 が最大許可制適用を受くる を粉、羊毛屑又は古羊毛 正、輸入許可制の施行期間 は左に揚ぐるものに限定す は一ヶ年とする事 ない は左に揚ぐるものに限定す は一ヶ年とする事 ない は左に揚ぐるものに限定す は一ヶ年とする事 ない はなに揚くの増加をする事 ない はない カギィン カギィン か品に對し主務大臣の輸入 四、輸出許可制適用を受っる か品に對し主務大臣の輸入 四、輸出許可制適用を受っる か品に對し主務大臣の輸入 四、輸出許可制適用を受っる あまま として許可の日より三ヶ月 か品に對し主務大臣の輸入 四、輸出許可制適用を受っる あまま として許可の日より三ヶ月 か品に対している。



渡少將今日渡滿

探清凉和夏の 酸









待遇を考究 出内地官吏の

「東京國通」廿年前ドイツの「けてゐるが、今度日本學術版」を 大大陸移動散は今日に至るま くために南洋のバラオ、ヤツ 東大大陸移動散は今日に至るま くために南洋のバラオ、ヤツ 場を設けて此夏から愈よ島嶼 原本ではこの世界的な謎を解った。 の移動並に昇降に關する本格 文の移動並に昇降に關する本格 文の移動が、今度日本學術版」あ

本報介する為の 本業、都市施設、鐵道、関防 産業、風俗等を撮影したる寫 変の説明を施した「滿洲國書 文の説明を施した「滿洲國書 大レーテド)三千部を印刷、 中一千部はツーリストビュー 中一千部はツーリストビュー

ピユ

n

會議

(六月十 金 銀

日後場) 市况

われらは、一昨年の移民會 、 大農法か小農法か、 企業農か自作農か等の問題に でいて、大農法か小農法か、 企業農が自作農か等の問題に を用ふるところの自作農法に よるべしとの説が多数を占め た。それは額後の對滿移民の

で昭和七年以来、四箇年を

學術振興會

島嶼の移動

ア氏の學説を

どう解く

白

・場合敍勵、官等、等級の昇進 ・場合敍勵、官等、等級の昇進 ・場合敍勵、官等、等級の昇進

陸軍側强調せ

置

り新愿舍で氣分も新しく事務

替

相

兩省出

定した由である。われらは、 同會議の成果として、暫定的 計畫以上のものが討議され、 大綱の決定を見たであらうこ とを察するのであるが、未だ その内容は公表されてゐない ためにいまこゝにそれについ ためにいまこゝにそれについ ためにいまこゝにそれについ ためにいまこゝにそれについ 加し、三千名の移住計畫を決 加し、三千名の移住計畫を決 で、三千名の移住計畫を決 八量移民計畫質施まで開催された移民會議の一一の二日に亘つて關

「東京國通」無任所大臣設置 につき政府側は稍々氣乗薄の 一新の急速且つ完全なる實現 を期する上には是非ともこれ を期する上には是非ともこれ は閣談に進言する筈である、事項の一つとして近く首相又一新に對する陸軍案の最重要

の事務に追はれ豫算分取主義 は現在の各國務大臣は各省事 は現在の各國務大臣は各省事

國内 十五 滿口電信為替等

取

极開

香電信

文相の再改組

提

波瀾を生む

危機に立つ帝國美術院

滿替滿 小 電同同同同同同同 為 信 勃富寧 牡青柳與蓮新義盤輯與 郵為 信丹: 如 立 縣山安城巷 晚春利錦安為江龍河隆山 屯 縣山安城巷 新 市郵郵郵郵郵郵郵郵郵 日 (3) 電局 番日间间信 同间间间间间间间间 滿 為日 通间间替滿同同同同同同同同同同

は十五周年記念會に引続 村田社長が決

商船社長を互選した 時總會を開催、役員改選の後 時總會を開催、役員改選の後 日石新株

排入徴收に内定 東京國通)日本石油では十一日の重役會で懸案の拂込徴 中につき新株(二十間拂込) 八十萬株につき一株七圓五十 八十萬株につき一株七圓五十 大十萬株につき一株七圓五十 大十百初めに徴收する事に内定 した、この結果同社の携込資 本金は六千二百萬圓となる事

任挨拶に來社 任挨拶に來社 任挨拶に來社 **沈欄**

八店員入

種まき横兵を

殿僕の構

五月の

ロムピアコドャレコード

一、食員優待大福引つき景品」、北麓 四ドモ・ニッポントか月分

コドモ・ニッポンクラブ」に登録

下さいますと、直ちに枚、Bクーポンなら6

菜の花を

ど行

挨拶に來社

氏が富選就任する響である 株理三菱信託取締役山室宗文 は現三菱信託取締役山室宗文 は現三菱信託取締役山室宗文 は現三菱信託取締役信長に 五日定時株主總 新會長に山 株主總會を開き配當 本船主協會で 室氏 定

木下耳 來社局

に風法院に執行官を置くこととなった結果民事執行に闘する事件は之を周法院をして管轄せしめ且執行に闘する事務は凡て執行官をして爲さしめることにした 計三萬圓を支出助成するに決計三萬圓を支出助成するに決計三萬圓を支出助成するに決 を外務省に依頼中であつたがの事業を計畫し、之が援助方の事業を計畫し、之が援助方の事業を計畫し、之が援助方 畵出版に 遼皇陵壁 の通知があつた 外務省援助 化事業部より とが援助方 をあつたが 是林商工廟省出入記者側一行 八名は京城を經て北鮮經由、 十三日午後九時四十五分着京 するが新京に於ける日程は大 の通りである 十四日(日)午前 自由行動 下午 村上闕東軍顧問招待 午後三時、實業部懇談會、 入記者團 日程 日程

首相又は閣議に進言

午後六時半 醫院 放丁三十日

三菱信託

0

午後六時半年後 自由

中 實業部招待 中 總務顧長招待 中 總務顧長招待 中 總務顧長招待

即、同山地壽、日本佐次郎、民森本眞俊、時代 同 大月股 ** 2.0 八月股 ** 2.0 八月股 ** 2.0 八月股 ** 2.0 八月股 ** 2.0

新京取引市況

各地商品市況 後糸 | | | 富

紅画印5

御存

Aクーポンなら3枚、Bクーポンなら6ケーポンがつきます。 をとレーペルが楽晴しい色踊りになり、 りでは、外では、 を表現し、 を表現し、 を表現し、 を表現し、 を表現し、 を表現し、 ののできます。 ののでする。 ののでで。 ののでする。 ののでする。 ののでです。 ののででする。 ののでです。 ののでで。 ののでで。 ののでで。

大連爲替 三八郎 三分 教 向 本海為替 育 向 愛際 票式枚 184. ● 票式枚 184. 票一人校 1855 第 日於 魚小賣相場

卅五圓より

百

國遊 製製 優 秀 四倍眼 田田 六鏡 入 荷

五圓より四十圓まで

六倍、

十二倍

五日よ 五〇 一十日まて 三十日まで) を開催致しますから是非御來店御用命の程御願申上げ 後共御引立の程お願ひ致します今回最初の(大奉仕會) 弊店今度店內改築中は長らく皆様に御迷惑をおかけし て誠に申譯有りません御蔭様で改築も竣功致しました ら此の機會に皆様の店として御利用させて頂きます今

形 一、五〇 八〇

この根本的な着 の最大

るやらなプランこそが設計さの根底からそれを回復せしめ ある。満洲に於ける農業恐慌し生活はつひに現實のもので 刺戟的な言葉も やらな農場の設定と農民の ねばならぬのだっそ 間縱斷面(沈家店橋--石碑嶺) 11.840米

導者に人を得ば前途に悲觀す 何物の存在をも認め

純眞不拔の信念を

、平常化されつゝある

型れぎれに興由して連つてみ が摑めれば日本列島が斯くも が摑めれば日本列島が斯くも が摑めれば日本列島が斯くも

商業登記は

區法院で

質各應

新廳舍移轉

濱江省民教

豫定

101主任田口のため新京ッ1

1主任田口文雄氏は十九

日午前七時競ひかりで るが會議終了後各地の觀光施

他はこれからりを「他はこれからりを「

本のため新京ットリスト・ビュ ・ロー案内所主任會議に出席 ・ロー案内所主任會議に出席

高引寄付 一三、名 作寄 大連金鈔県

ラオ島の南洋鷹氣象觀測所に島なので日々の檢潮記錄はパ

り行く者を輩出させたかは今 りでも一般に疑問とされてゐ なほ、 入計らが、第 | 関官吏が滿洲國官吏となつた 在の滿洲國の制度に依れば我 ではれば我

点 (勾商社)

万面より大きな期待が懸原因といふ六ヶ敷しい間原因といふ六ヶ敷しい間のも解らうし陸地構成の

満洲國法院組織法は愈々來る 七月一日より施行されるがこ 技院にて取扱ふこととなり又 法院にて取扱ふこととなり又 古等法院分院附設地方法院に於て 上せらるる結果提存法中之に

「ハルビン関通」工業大學内 に假住居の濱江省民政應、教 育廳、寶業廳は今回長官公署 の建物に移轉し來る十六日よ

田安高引

票銀大洋

外交部では今回躍進満洲國の

京吉驛傳マ

ラ

ソ

ン競走

選手の為に

満洲國通報出版

時んど起伏のみで最後迄つづ ・ 大百米は大體に於て平坦な ・ 大百米は大體に於て平坦な ・ 大百米は大體に於て平坦な ・ 大百米は大體に於て平坦な

此の區間は、沈家店橋より、 相當、多數あり、コースとしては種々變化があつて面白い では種々變化があつて面白い 稱洲 國協和合 いてゐる。起伏も大なるもの りも大體同樣な距離の下りで あるから、峠としては相當急 なものである。 ところは、園の(イン(ロ) ところは、園の正者最も苦心する 此の區間の走者最も苦心する

カの配分を考へねばならぬの は程自重して經濟的に自己の は程自重して經濟的に自己の は程自重して經濟的に自己の は程自重して經濟的に自己の は程度がら云つ ではないかと思ふ。此の属間の大體の中央は圏のイの峠である事を知らればならぬ。 が なた 走なで走り抜ければ、後 なん 走法で走り抜ければ、後

は、リズミン あるから、常 かは、リズミン ならぬ。此れい ならぬ。此れい から、此の 看に渡す相當大切な 機法をとらねばな の に 戦法をとらればな

仕立 組名古屋帶二 衣 ス

反三、五

(8

あ

じあ」既に古

を 関の報告を受けた山崎操佐一行は同僚の死體を要けた山崎操佐一招、引返へす途中、又もや同脏層に發見され死體は再び腫脱に奪はれると共に自衛側負債を変通の便頗る悪く製平より

ハルピンはだん々々日本色 か氾濫してゆくが實際問題 としては仕方がないとして も礼閣屯や巴林等にはやは りロシャ色を發して観光に りロシャ色を發して観光に りロシャ色を登して観光に と述って若い藤洲が現實に と述ってあると云ふ感を深

陸上選手

ムピツ

更に新型登場

満銭が

| 五キロのスピードで走る場合 | 小質證された、即ち時速一二

三日を契しればに赴いた凝平 古北日雨警察隊員は未だ到着 してゐない模様である、現在 省内に侵入してゐる同題團は 三百名とも四百名とも稱せら れてゐるが國境を隔たるチャ へル省の黄砂會期は千五百名 より共産分子又は反滿抗日分 子の策動あるものゝ如く當局 に於ては同題團の暴行に對し に於ては同題團の暴行に對し

#三)

に立ち寄ったが左の如く感想 版にある文士長與善郎氏は札 勝屯、チチハル、ハイラル、 勝中、黒河を見て十二日午 後四門飛行機で再びハルビン に立ち寄ったが左の如く感想

引條件の改正が油房、輸出業 関江以外に入區、香坊、ヘル 宝 関江以外に入區、香坊、ヘル 宝

房の負擔とする

動

長與善郞氏

哈市で語る

一 ルピン園道】 ハルピン航 一 五分引下げを断行に決定近く 正式發表するが、これは五月 一日から江捐、水資捐、結關 要等の航行稅が廢止され一ヶ 整き四月廿二日の開江第一船 に遡つて船運賃の引下げを行 はんとするものである、同局 はんとするものである、同局 に遡つて船運賃の引下げを行 はんとするものである、同局 に遡つて船運賃の引下げを行 はんとするものである、同局

七月來滿?

中國共産黨の策動か

黄砂會匪跳梁す

や警察隊員を拉致す

女ノ川一行

道國家の一縮圖 阿城」を見る

(四)

既城に燃却された

た者に

野南双城縣墳の下香磨、沈家店 西南双城縣墳の下香磨、沈家店 でれてゐる部落の防門狀態を 見るに、各部落は溝を掘り土

として敬畏され、警察署と双神的に各部落は完全に結ばれ神的に各部落は完全に結ばれ共同戰線は張られてゐる、山共同戰線は張られてゐる、山大同戰線にとつて一大敵國たると共に匪民分離の出來上つたと共に匪民分離の出來上つた

銘

行

区

配最高近

時

畑

調

報

現物

米

直

商

集團部落の將來

方法は略々次の三つにある 専門家の意見を徴し、現地の 資情に鑑み夫々最適當と考へ られる手段を講じてゐる、阿 おれる手段を講じてゐる、阿 になりつゝある建設 地の が表 建國以來各省に集團部落集 関移民の設立を見、右越官達 政に努力が拂はれてゐるが、 護江省の如きもその治安並び に農村經濟狀態より見て一層 建設の重要性が思はれ各縣共 落の附近に散在する家に對 野地方に於る旣成部落は之 野地方に於る旣成部落は之

立 南方の趙家蔵子その西南萬穀 各部落を距襲から防ぐ守護神 である。 一間 当建築の多くは自己の禁錮により左程附別を要するも 大型 はなく、且つその他これが救 部 対し、監視の多くは自己の勞働によ 外 が で は して は 1 一 で が 別し適當なる方法を講じつ か で で と と い で に と と と に が な こ の 体 後 と 共 に 明 年 、 明 後 年 に か と で 、 と と の な で に と と と に 部 を と に が な さ れ て な と で と と に に と と に と に と と に と と に と と に と と に と と に と に と と に と に と と に と に と と に と と に と に と に と に と と に と に と と に と に と と に と と に と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と に と と に と に と に と と に と に と に と と に と に と に と に と に と に と に と に と に と と に と に と に と と に と に と と に と に と に と に と に と に と と に と に と と に と に と に と に と に と と に と に と と に と と に と と に と と に と に と と に と と に と と に と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と に と に と に と と に と と に と と に と と に と と に と と に と に と と に と と に と と に と に と と に と

此の縣の参事官は集團部落に 大道を教育に難した。 一次の場合を関連を表示により行政の を有ち漸次治安の作に経下に二〇〇の を有ち漸次治安の行政を信息が、完全に匪賊の を有ち漸次治安の行政を有りそのらも二 大道を教育に難したが、 を有ち漸次治安の確立と 大道を教育に難したが、 を有ち漸次治安の確立となり を有ち漸次治安の確立となり をなりための をを有ち漸次治安の確立となり をなりための をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなり、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなりたが、 をなり、 をなり、

で車中に、 大学事官の 言葉を聞く

い、自らなる敬辱に の理想に燃ゆる

車窓

見て、ハルで越へ野山を越へ野

保甲と集園がたり營々と

シスの節りを

の念さへ初 今を盛りの一 大される日 す王道の花

一系官吏諸氏の目の言葉によっての 五彩の野花の如

絢爛と咲き

るを得な

満鐵

ので來連しない由である の双葉山は北海道巡梁へ廻る ので來連しない由である。 ので來連しない由である。

濠洲

脂に代

大豆油

の進出期待

くした、満洲里はまるで死 悪河では内地で考へてゐた といふやうな奥珠しさ を感じた を感じた

第 朝 五 鮮

商工會議所

凹定期總會

る日所

し輸出業者の負擔とする一、地房内からの豆粕積出し一、油房内からの豆粕積出し一、油房内からの豆粕積出し一、地原内がらの豆粕積出し一、配車料を一律に二個に定

東京から 「大連支社」 補鍼に於ける昭和十二年度採用配員整衡は東京支社で十九日から取行はれるので石原人事課長は十一日は組計ららる丸で東上したが今回は他社に先じ約百九十名の技術系社員の詮衡を行ふことになつてゐる

して切に實施を期待すると、際夢望はその一つの現れとないで大豆油の輸入關稅撤去の一つの現れとない。

日本の輸入關稅撤廢を要望

撲滅運動ご 清掃デー施行 市衛生課で 併行

【大選支局】ひつきりなしに 満婦/ と大呼してゐるとき がさめると又もとの廛の街と 四日から三日間市衛生课市内 を管察署が蠅撲減運動に並せ であるがほとぼり 本つて行くこれでは不可と十 四日から三日間市衛生课市内 を管察署が蠅撲減運動に並せ かして市民の自覺を促すった、今後は毎月十五日 十四日より三日

 店 見 山醫院長

(瓦房店支局) 待れた瓦房店 際院の小見科が復活し擔當階 院長階學博士小売山徹氏は着 低早々旅襲を解く余地もおか で、長階學博士小売山徹氏は着

時年續開午後四時間食會 於朝鮮ホテル 成正午京城商議招往 一會議所提出議案 閉じ待の

【京城支局】湖鮮商工會議所 「京城支局」湖鮮商工會議所 第五回定期總會は來る十五日 明會するが前後四日間に亘る 開會するが前後四日間に亘る 開合するが前後四日間に亘る 一下前九時常議員會議所理事 一十六日 (第五回定期 (第五回定期

- 日

哈爾濱航業聯合局

運賃五分引下

大> 通信局分館會議室 信局主催 海軍憲談會 四時卅分閉會

ルマン に来天関連) 鐵路總局では北 では北 では北 では北 では北 では北 の見地から富拉爾基に酸乳製 の見地から富拉爾基に酸乳製 では北 の見地がら富拉爾基に酸乳製 酸乳製造 乳製造所 業獎勵に畜産振興

選が北端經濟の動脈であるだ 感を以て迎へられて居る 選が北端經濟の動脈であるだ 感を以て迎へられて居る

显粕取扱條件

油房側有利に決定

關係業者間で協議

近く正式決定發表

定し油房側に有利となつたれて来たが、大體左の如く決れて来たが、大體左の如く決 る事になった を目的と を目的と を目的と とするもので同所は 同地特有の酸乳の製 同地特有の酸乳の製 取し馬乳及牛乳を原 取し馬乳及牛乳を原 處の

加 茂 塚

四四

五九

II

公債株式現物賣買 额 取 新京老松町十二 別 電話 (33) 仲 商 六二 -= 六四 店 五九

#0.00 #0.00 #0.00 #0.00 #0.00 #0.00 スススションス損ごこっ越ったスコ

傳統ご典雅を誇る

ヱクザクターカメラ 1000秒マデセルフ -F3·5=70M-M··· 金220.00 金25.00 金120.00 及双寫 材眼虞機料鏡械 佐 大連市大山道二丁目三五番地、接替「座」西六〇一番接話「図」西六〇一番を接替「座」五二〇番 野 洋 行

アキシ 級髙 化粧

AND THE STATE OF T 「歯魔症」急性。慢性淋病・膀胱炎・尿道炎・滑渇等するも胃腸障害又は腎臓刺戟を起さず淋菌を滅殺し尿を清澄ならしむ。持續服用 陸軍藥局方收數 Barrie 5. 95 製才木 元實發意製

1, 5 金庫界の 我寶庫の 大立物 運 堅 不能にて絶なり廣きこ な自在に る事はも リウス商會寶庫カ ーデ

ックス。鋼鐵事務用品一式 小田原金庫店 大連市連載有京極通 2.6.9 11.253 == 大東 15

3 п

リアニ店品粧化名有・合組費消・店貨百滿全

近代人の常識でございます 香水の一滴は あこさきにお白粉の一刷け 汗ばむこの頃、 白石 お出かけの シ =

幼見ては午前十時

一日全體の食餌必要

用紙は官製はがき

宛お問ひ合せ下さい に本機を閉放致し

* で歩行が出来ぬので止めまし の です人手を借りての醫者通ひ で歩行が出来ぬので止めまし

がなくなつて食事がすゝまず男へてゐるとそのために食慾男へてゐるとそのために食慾ら大丈夫と思つてちよいし、ら大丈夫と思つてちよいし、

量の一割五分位の量の間食を 東へれば充分である、與へる 東子の種類は、生後八ヶ月乃 一至一年の幼兒にはウェファー ス、衛生ボール、軽騰、パン カステラを牛乳に浸したもの 果汁など、一年乃至一年中の り見には、瓦煎餅、ラスク、

(間) 身體が弱つてゐる と右足の甲が腫れ上つてズキ ※を貰つたら淋毒性關節炎と の事で非常に驚きました。母 日醫者に通ひましたがワクチ ン注射と黒い途布薬を塗るだ ン注射と黒い途布薬を塗るだ

たこの病気は随分長びくそ

すが手の方は治りましたが足た。三週間ばかり寢て居りま

万と榮養の狀態とをよ

が勿論無暗に與へ

くのる



4, V ij リミ清楚に

着こなすど上品

す

▲朝廷に始めて左大臣右大臣を置かれましたのが「 をります。 の明智に発き歌大皇元 をります。 の明智に発き歌大皇元 ののお話が天正十年四日と見えて のやはり六月十四日と見えて のやはり六月十四日で金 なつたのが翌天正十一年 のやはり六月十四日で金 なつたのが翌天正十一年 のやはり六月十四日で金 なった行は北るのでありました。 でものやはり六月十四日で金 なった行はれるのでありました。

四市況 (東京)

八三〇

時演 報 出

一伊藤基

(東京)

使用中電(2)三九六七番へでは、2)三九六七番へでは、2)三九六七番へでは、2)三九六七番へでは、2)一三九一

ド階ニデロ

望

トへ(ワル

查外是豐司枝座

に着る爲には、裏には必ず絹を使ひます。絽廻しは薄い赤色とか紺色の羽二重をつとほして女らしい柔かさを出したいと思ふのです。からした固い地質の着物を上手高い方はその高さをいかし、ふとつた方は肥つたなりに美しく、たゞ本綿の固さを木綿縞やそれから黄八丈、とび八丈、唐棧等、地質の固い簡素な感じの物を、背の最近、木綿の蕎物を上手に着たら面白いだららと思つてゐます。田舎娘の着る紨絣

好ましいものです。又着物によつては黒橘子の帶もいゝでせら。(無常) ーは献上でなかつたら羽二重の一色の染め拔きなどがよく。 (帶あげ) (エリ肩) 一淺黄など は少し多い目 にくつて襦袢を召した方が姿をよくみせます。 白地はとく

ました髪。 (はきもの) (帶どめ) ー勿論打紙でありたいものです。 は一色の鼻緒の草履、髪―あまり

なるべく外側の胃いもキャベツの薬 三枚

本アメリカ合衆圏が関旗、 見十四日でありました。 のが西暦一七七七年の六 月十四日でありました。 何、ワイ諸島がアメリカの 領土として併合されました。 たのは西暦一九○○年の たのは西暦でありました。

なれば

いものだと思ひます。ます。萬事が木綿の持つ簡素で清潔なり、女ます。萬事が木綿の持つ簡素で清潔なり、女 女の姿として。 と揃ひの手風呂敷が好まし 如何にも清楚であ好ま

(金)

金持は厭

かる

3

與へたり金をやつたりし の友達が何が欲しくて排

いしくて堪まら

、そして金を使はず

れを判らせるに

もはつき

(金)

只、すゝめても駄目で

こんな原因がある

子は歡び

目的もなく貯金としてゐる事が調査の結果明かで貯金をして居ますが、富者の子供は唯農然と何の登しい家庭の子は、自分の學用品等を買ふ目的で

誰でも出し合ふといふやうにその場合は、各々の貯金からその場合は、各々の貯金から の會や、遠足を決めておいてと話すのです。又家庭で定期に貯めておけば買へたでせら

新綠

の街に流れ

3

子供は 間 食で

だが、年齢や分量に注意して むやみに與へる

と全部次の様な種類のものに す。而も金持の子の答は、殆 す。而も金持の子の答は、殆

何故と云つて、そのお金は一お父様はお金を下さいますが少しも嬉くありません

を知らし

するのもいゝ方法です、とにかく、金を貯めておくことがかく、金を貯めておくことがを知らしめなければならぬものです。

前二

・MO」哈爾濱より全日滿中繼

江音樂の旋律

て間たで

XXXX

なまり節料理 中ヤベツ胡瓜の早漬 朝 **%**—-**%** 大・二〇 建國體操 大・二〇 東京 競通報 大・二〇 東京 ・ 「大・連) 番組

十四日(日曜日)

加茂御田植唄

と、何か間食を求める、だがいが、それ以上の子供となるない。乳兒には四時間毎に曳ない。

サナがるないらない

二種と

とをきめて與へなけ

でルリン交響管 との 管絃樂(解説付) 管絃樂(解説付) では楽(解説付) 引續き 朝の音樂 (大連) がオー番 ホ短調 ショバ 第十一番 ホ短調 ショバ

因である淋疾の治療を徹底的に行ぶことです。そうしなければ輕度の運動で風々再發を來たして滑りませんから響師の治療を織けて受けられた方がようございます。下手な自宅治療をなさると関節の强直を起して足の運動が不自由になります。(順天階長小橋博 (二十五歳の女)

一喜博哲

作作勞〈配

聖奉太

14

2

要別地方の、ある百姓家の ・ 下一や窓を通して河原の景色が ・ 選くまで織いてゐる。川瀬の ・ 川瀬の

櫻木藤清役 **井崎輪川** 欣王 相手に、 を存が来る。 を存が来る。 を存が来る。 を存が来る。 を存が来る。 を存が来る。 を存が来る。 を存が来る。 とず、明 し と を行られて五百圓は落ちまい

針仕事をしてゐる。やゝしば 喜作は、有頂天になる。それで一心だ。博勢はおふくを ついろと馬の話を 別田して駈けつこをしてみろの 喜作が来る。 と、博勢に自慢げにいふ。 今年の仔馬の出來が素晴し 一作は、仔馬をひつばり出したので、博勢は、必らず、明 て河原へいく。 と、時ので、「神学は、必らず、明 て河原へいく。 と、時の正では仔馬は軍馬に買 おふくは、息子の姿が何像上げられて五百圓は落ちまい へいくのをいとしげに眺めて と折紙をつける。

ラヂオマ 東京より員 馬 船豊作、 市が來て

お 馴染み創作 作座の

伊藤基彦演出

だ」だっ方は枕をつけて寝る方

※京仕立

查問部御教養ス

製町二丁目五ノ四線バレス前 一神谷裁縫内修院 神谷裁縫内修院

入船町一

ゴかけ忍びの緒といふごと なつたでせう」 なつたでせう」 「口は丁度耳のところへ行く え、しかし耳なら雨方に ると口はどうなるんで かぶるにはつるが邪魔に

● 京中央通 ● 東京中央通 端町第一種ビルニ十六號室 第町第一種ビルニ十六號室 第一種ビルニ十六號室 電話專門公益社

看板 電話31-11411410 金 t

3大MMO福海商事 大和通り六五(金光教筋向) 裁縫教授 融

ができます ・金融即時、長期、秘密、 ・金融即時、長期、秘密、 **眞陽**が 清清 電話と金融機能 電(3)六九〇八番 本電話店店 ノタマ金でお買入れ 日本橋通明で 公債ご難債券以 ネオンは 恩 工藝社 電新(3)三九二二書 板











カメラ 交換職迎中 カメラ 交換職迎中

あんま 一陽堂療院 電影3至八二九等 病京永榮町三ノー

食堂業中(三不足の為め) 学生、近日開店クリル少 を対して、近日開店クリル少 を対して、近日開店クリル少 を対して、 をがして、 をがして をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがして、 をがして、 をがして

速迅切 もる當社へ引 京土地理物會出 朝日通十七番坤

沙公 電話歌金融

中央通九

東三周斯振線電臺下東三周斯振線電臺下

本會へ おどり茶園 新茶入荷

戦町二ノ一四 電3二四二五階にある ないの大気堂不二勝

男女を間はずりものは本會へ失業路頭に迷りものは本會へ

タイプライタ脚 技术

青唐辛子等のみぢん切をかけ いりにしたものと一緒にも のな、押しつけておきます上に がリウにしたものと一緒にも のな、押しつけておきます上に をする。 として本 ない不平のみを漏らしてゐる るか諒解せずに唯自分で使へ るか言解せずに唯自分で使へ なければ二度とお金をくれ いからで、若しも、さうし いからで、若しも、さうし つない いめですこんなお金は貰ければ二度とお金をくれからで、若しも、さうし あをされせん

六·五五 田植唄 木 五五 俚

五 俚 篮 (各層)

るが

ぶつ飛ばされる姿が見え

御田植曳 然田神宮大高寮田 繁田幸耕者有志

一同、

それをきいて茫然と

は、ゆかりたふとや火高の星」

(熊 本) 熊本縣王名郡 (熊 本) 熊太縣王名郡 (熊 本) 熊太縣王名郡 (熊 基) 廣島縣山形郡 (京 都) 加茂御田植明 京和加茂千和會有志 (名古屋) 熱田神宮大高 齊田御田植歌 愛知 縣知多郡入高村鱉田 東京板橋下赤 東京)東京板橋下赤

二、こめて献げよをとめの誠 一二、こめて献げよをとめの誠 一三、伸びる早苗は御手洗池の 浮き心をそのまゝに四、植ゑし田面に氷上の宮の 森を映すも畏しゃ 五、齎田のほまれは年魚市の 湯に ひずけ蹇覺の名によせて

(東京)

百圓の夢は消

「仔馬は足を折つた。」

す。 そして はしぐれ煮

お惣菜

がよい時でござい りがよい時でござい りがよい時でござい

と口あたり

り節のしぐれ煮

と胡瓜の早

三二六 五四、日本

番二九三五話電 街中1夕京新

がれましたのが に 要 徳天皇元 に を 徳天皇元

テトレーン・自ら進んでの心を刺戟して、自ら進んでが現在の悠望よりも強く子供 へさせるためには、その必 欲しいものが買べないとん。金を貯へなかつたた の必要が自ら 小學校文長 同一校見 同校見 子東 一次京引續き新京) での時間(新潟) での時間(新潟) 刈田吉太郎

(京城)

のて

朗らかな騒ぎ。

(俚謠)

戸板を選んで一作を選んで 来る博勞は踏者へかけつける と、そこへ、仔馬が足も折ら と、そこへ、仔馬が足も折ら

六六〇 二、講演 夜 、 講演 **被**山の今昔 昭和製鋼所業務課長 昭和製鋼所業務課長 水津 利輔 挨拶 八四〇 東京無線

各局より 五五

車株式會社事機を書面会

③三四七〇香

澤山有ます 御用の方は機器

田植唄(相馬地方) 福島縣相馬郡原町 一、振り込み 本唄「一本植名では八升とる八穂で九 とり「目出たくの此の小松からしようばいつする かよからしようが舞か遊ぶからしようがが流れく なけぶの田植の田主様がなれ をありは鶴と離とが舞か遊ぶが流れく (後七・三〇東京より)かたの如き男が、横丁の中司通先生のところへやつて來ていろいろ物をきくと、先生はなんでもこぢつけて返事をする。とゞ薬罐とはどういふ譯だと問ふと、薬罐は昔職場でたと問ふと、薬罐は古歌場であわてた大將が兜のかはりにかぶつたのがはじまりで、飛んでくる矢がそれにあたつて 語落 「藥罐」 蝶花樓馬樂

大馬路 電話三二二七番 大寨 食 堂 大馬路 电话三二二七番 大寨 人多大本

梅ヶ技町四丁目 商 行 調賣部 一度御試食を乞ょ 第(3)第五二人

帳簿專門

電話3三二三四番

司越

大和自動車鑑

٤

其他建築材料一般煉瓦・砂碎石、セメント

三省堂製本所 金

宋松接骨院 不松接骨院

タイピスト

高橋治療院

カネタバン店

*茶上茶道具

窯內

た。それには先 ついての書類が ついての書類が

時過ぎになって、メンプシ酒の臭 は姉の夫の公館の四人乗りの はがの夫の公館の四人乗りの

その外の者は陪席といふわけれた。自然陶子堯が首座で、

の一人が言つたのである。

ぢやまあ玄人だらうぜ」「ほくらん所の老總はその方

酒が三巡を過ぎると、みんなである。料理が一件をおはり

大の日、陶子堯は役所へ行って、お禮を言つた。 旗院は また彼をおだて上げるやうな 事を言つたので、彼は全く喜んでしまつたのである。 公館 に聞つて、荷物を整理し、又

た。みんなは彼を迎へて、本た。みんなは彼を迎へて、本

ついくと

三関有名製品にあり

本舗

は先づ

行 隔の姉辈は、荷物を持つて公 に言つたものである。 「あと数日で選方へ行くんだ」 「あと数日で選方へ行くんだ」 「あと数日でも気持をのんび」 が、数日でも気持をのんび」な

隆

のは大變だ。 ところでこの日、洋務局の たのは、必ずや名利ともに收 たのは、必ずや名利ともに收 たのは、必ずや名利ともに收 ためみんなは、突泉といふ所 ためみんなは、突泉といふ所 を借りて みんなで割り前を 他の送別を行つた。約束した のは輩の十二時だつたのだか のは輩の十二時だつたのだか

れ。やつと今さつき、散會」 小生に陪席しろといふことで いなことで

れえ。呼んだのは、兩司の首呼んだのにふつつかりまして

學堂總辨の王観察、

せてしまひました!」
せてしまひました!」

みんなは聲を揃へて言つた

ては、西洋関係の仕事について話の判るものは誰も居らん

(E

我々は何も短歇で飯を食ひ

筋

日)

出してゆくその軌音に信とする。地面の上に自分に突つたつた己の顔を覗とする。地面の上に自分

けるものかなこの春もふかまり逝けば土

白

妙

曜

るが、仲々安心の出來る れればならぬ、といふ心 さるまでには、まだまだ

うける氣時)、(うるはしい(何か意表外のものを思ひも(何か意表外のものを思ひも

吾子のごと人の子連れて公 こころ卑しきも のか

吾身慰めて涙しじ湧く

ける事の出來ぬ手品は

をその通にやつて

が氣力も出ようが、天井に這部の所謂現實派の雜言に張合いところがあつたら、一 い邊感のみ書いてゐても、自

られてきた一つの文學を他處 人に掻まぜられたくない矜持 と信念を持て。私はいま眼を 据えて「多暦」劉「アララギ」 の角逐を瞻り、その火花を手

その火花を手

のリアリズムに心が叩かれ

の血肉を發見

つてゐる煙のやらな正體で

手の国かぬ精神

たず、岡野直七郎、北原白秋 たず、岡野正は此 のとして、特に判然と區別し は注意させられる。(「歌壇 は注意させられる。(「歌壇

係や衝突を矢鰭に文字に書きぬものがあらうか。事象の陽

日

處

失

功

鹽

谷

睿

石

ないから燥慮がなく、

seiri

を持てり ことをなほ言ひ出づる思想

一映書製作毎に一つの野心 を實現しやうとするチャップリン君の事であるから今 を変現しやうとするチャップリン君の事であるから今 を放つトーキーを世界のア を放つトーキーを世界のア を放ったにチャップリンの次 にエチャップリンの次 をかうに手に對する野心も をいた。 にあるらしい。

ムズガユキ悩み

皮膚の内部

量きし

と女給

ないから燥慮がなく、疲れなつたと考へる。後を見る事がも御座れで歌にした頃はよかもの、感じたもの何で

きが友としばし会

戀うた聞か

ービスの意義解きて聞かせ酒場なる女に無す愚者にサ

関の芝生の上に朝を迎へよ

褒貶が心身に喰入ることが つたが、その

及て、中川余一の偶然論、 大が如何に頑固親爺でも一應 たが如何に頑固親爺でも一應 たが如何に頑固親爺でも一應 ですったがればならぬ節が ある。金輪際、そんな事があ

である。ひたすらに守り育て である。ひたすらに守り育て である。 若い作家達は確だる 態度が要請されるべきである ジャナリズムが静歌を優待せ 切のは事實だが、節を挂げて あのは事實だが、節を接げて

供します。初夏から夏にかけい外気は、皮膚の栄養を旺に四い汗と、微な埃は、ベイキ

かけて、皮膚の病気が増加するのは質にして、寄生虫に美味しい食物を提供するのためには快い温床となり、暖

病には

なほんとうに

25

在庫豊富

製材品小賣

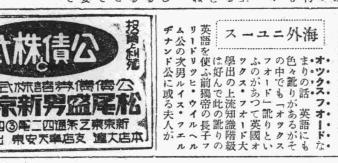
け

然のてとです。

L

ズ痒いの

油断はならぬ



亡六〇四③尾二四通条Z東京新 京衆所張出 東安天率店支 遠大店本

新生虫は、この中に総称にトンネルを振つて住み、以に見える外部よりもむしろ内部の方が大気です。 皮膚は、椹窩に取みをもつて母ます。皮膚病は、

パイキンは、「はは、という」・デはデを生んではびと

かなほつても、真似することになります。

變透療法劑

ンが使人して、烈ろしい丹春や獣的歌になつて命を 撃に皮膚病として闇むばかりでなく、悪性のメイル さん、靴むれもます (一多くなります。これ感は、

ん、称むれもます~をくなります。これ等は、たむし、於鬼はこれから強へるばかりです。いん

靴むれの季節

む

Ļ

水。

おとす事がしばん、ありますから社館しなくてはな

1

キンは

皮膚の深い所に居る



て話の判るものは誰も居らんて話の判るものは誰も居らんだやない、この山東 省に關する限り、海院を除いては、西洋関係の仕事につい

たぼうナヤーゼは近作用に際に勝つて居るので、愛師では、皮膚質治療上絶跡に必要なことであつて、皮膚質治療上絶跡に必要なことであつて、皮膚の凝都に滲みとほつて、メイキンや寄生虫を製

殿い要皮を掘逃し、狭い皮脂腺や毛穴を傷はつて

皮膚チャージの魔質

も患者も共に問題して使用し、音楽足な転果を存て

よろこんで居ます。

かきめが非常に早いりシテ深部に滲みとほどのけて汚れず皮もむけず 皮膚チャージの特色 8

位菜 = = 東京市神田區花房町二 三五十

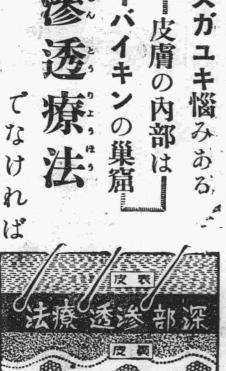
きび、蚤、蚊、南京虫

靴むれ、はたけ、に 身タムシ、 身タムシ、水虫、水虫、



未然に防ぐのが、最も関門な方はです。 です。それを爪で掛けば、型製のために炎症を増って、興氣が膨化しますから、若し痒いと感じたなる
で、興氣が膨化しますから、若し痒いと感じたなる
を育って、興気が膨化しますから、若し痒いと感じたなる

7



员散取 上新古 000 品設歷 質值史

-專門店 ピキノ虫カラ クマゴニ三十萬 新 兩面書 發 賣 ー本で調学と太学と扱ける ペンの重みだけで書ける 一生に一本を振行する 由下-店面吉及那連社會武徳 「虫物・レろ忠于要」 町水整木日京東・町番道區東市家大 全進代無軽申助

らなむの草煙 へ使をカモス をして喫煙家ならずとも誰も 歯の黒いャニがちき取れます を常に正しい状態に置きます の歯を純な白さに輝かします 口中の荒れ! 臭ひ! 食慾 駄な散亂を防ぐためです の不進! 人一罐の使用量は約一ヶ月强 を與へてあります スモカの粉末には適度の潤ひ スモカは主として喫煙家の歯 それ以上の消費は濫費です! 故にスモカを使へば それを防いで日腔

リアニ店藥品粧化草煙

ネオスパースミン これへい 白等原木 中毒治療新薬 和泉町三ノー六 光堂製藥會社 に注射す 陽光

左の肺を胃されて

に働くうち

曜

に、「「「なくも落」いて心鬼をは、「何よくも落」いて心鬼をにし、心後の悪いて心鬼を

では、教育の職の死亡酸は、秋冬のもこの縁で、死亡終散を見いふのもこの縁で、死亡終記を見ても、教育の職の死亡酸は、秋冬の職の死亡酸は、秋冬の職のそれの三倍以上によって居

かない。 を表すが、直接の死因はさらでない。 であるものを合算されば、更に多いによるものを含算されば、更に多いないないであれています。

まに上るものと思はれます。 この総核は、春夏の候の気温の 上昇と起機につれて

咯血もこの時季に起り易い

でなら、只大食したり、緊要物を興くると「とが必要で、その意味から若素をいた、でなら、只大食したり、緊要物と離す」に多変らせる部りであまり、変でありませんか「鬼が大きに入ると」といふ微生物刺の服が、変でありませんか「鬼が大きがを、孫性のまとで製剤した特許、繋をある智鵬を支夫にし、同時に潤力・一性盛な活力を震弾した、表験した。といふ微生物刺の服が、変でありまして、骨臓点に入るといるとなる発動を支夫にし、同時に潤力・一性盛な活力を震弾して、表験した特許・繋をもある智鵬を支夫にし、同時に潤力・一性盛な活力を震弾して、表験した。おきない。

一世にして近抗力を強める所りでなく、理酷も斑戯中から影響であるがしたり、つわりが配成であるがは、強があるがは、なったりあるひは、高後のため、に翻奏を出したり、つわりが配がっために、活性へりあるがは、強いからととが少くありません。 様なことが少くありません。 様がよういが関係のため、危険に隔る情がから影響、質応等のため、危険のあるびは、高後ののでありが配けたり、つわりが配けたっため、危険に隔るを放力を開発します。若素(わかもと)を常用なさる。 様がよういのでは、一時にして近れが対象があるが、一時にして近抗力を強める所りでなく、一時を強い、発養をあるがりでなく、つわりが配けたる。 世間にして近れ力を強める所りでなく、一時にのので変数となり、発養をあり、発養をあるがりでなく、つわりが配けたる。

大芸術のでな 大芸術のでな 大芸術のでな で表現の注意を受しますが、最も代表的の若素(わかもと)などは、 表的の若素(わかもと)などは、 表別の若素(わかもと)などは、 の方法で製剤したものだけに、含 ゆるヘーフェ酸素(酢母雞)と母のだけで製料したものだけに、含いのから見ても、他のあら 險ル 便秘を除くことが出来るわけで ペーフェ 景館は極気が非常にあ 選擇に當っては

で、健眠気を用るるのは無理もあいて、健眠気を用るるので、その苦難を選れやうとし、大きく考へて、精神的にまるので、その苦難を選れやうとし、大きく考へて、精神的にまるので、その苦難を選れやうとし、大きな

から、 ので関うます。 が最も観賞に含まれてあて、呼吸が、 が最も観賞に含まれてあて、呼吸が、 が最も観賞に含まれてあて、呼吸が、 が最も観賞に含まれてあて、呼吸が、 で、、神経の脳母を除ぎ、育変物質を分解した。 この若素(わかもと)は東京之 この若素(わかもと)は東京之 この若素(わかもと)なまりを この若素(わかもと)は東京之

一般であります。 ・酸脈はは、特に消化不良と常智便 ・酸脈はは、特に消化不良と常智便 ・酸脈はは、特に消化不良と常智便 銭)の廉價で發賣されてゐます。 日分僅々五六銭(小兒には二、三 日分僅々五六銭(小兒には二、三

この場合消化不良といふのは、
一覧を設する場合消化不良といふので、
一覧を設する場合消化不良といふので、
一覧を設する場合消化不良といるので、
一覧を設する場のであり、また常智・
一覧を設する場のであり、また常智・
一覧を表する。この作用は非常に複なの取ります。
一般が観光を用されて再ります。
一般のある番種組の臓器を伸手であります。
一の表の情化不良といるのは、
一般のある番種組の臓器をを解始し、
一般のある番種組の臓器をを解始し、
一般のある番種組の臓器をを解始し、
一般のあるをを表するとなった。
この変化を引きます。
この変化を引きます。
この変化を引きます。
この変化を引きます。
この変化を引きます。
この変化を開始して、
一般に
一般に

肉體的に見て

小學教育助成の爲小學教育助成の爲 おけいてをりますかが付いてをりますかが付いてをりますから、お求めの方は御がいながのが味から一枚をからではいい。 根別ををからします。 根別を 「わかもと」一版年

のます

廣告の御用

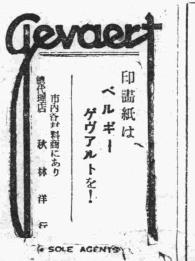
は龍田田〇〇番

^

「夏から秋への衛生」中込次第灣益

中

の病原はゲルトネル氏 は偉効を奏されましたが は偉効を奏しました は偉効を奏しました で著け脚を損は本體外 へ運び出す特殊の作用 を持つてゐるので食物 から起る中毒に



新京日本橋通伊鵬商店代理店率天中海廣土明三山岡區店本天富士町三山岡區店本天源 遊通山信公司本天小西邊陽外天利和電氣店本度時間,與東京 店店司店



め飲よ人い弱の腸胃



を賜はる優良葡萄酒 **醫學博士より推奨**狀

醫界の諸權威

他品にはこれに依らず普通の砂糖をもつて加味したものも ますのて多年弱かつた胃腸も次第に根本的に強くなつて 易い状態で保有してゐます。これらは血液、骨骼の構成赤玉ホートワインは尚、鐵・カルシウムをも消化吸收さ さらしたものは葡萄酒としては粗製品ですから トワインは葡萄糖と果糖を豊富に保有してゐま 身体の榮養は著しくよくなります ワインを常用下さらば、以上の綜合效果の蓄 の甘味をなすものはこの葡萄糖・果糖ですが 消化の負擔を與へないで容易に吸收されると 身体に備はる自然療能も從つて弱くなり 精力を身につけることが出來ます(赤玉 を昂めて攝取した食物をよい消化 食前に飲めば食慾を促します 身体の姿

るあが暴効な大響

中を紹川驛長の御先導にて御町は影、動語の順で興前に出でを出い、動語の順で興前に出でされた、奉戴した同校では全数員、三された、奉戴した同校では全数員、三された、奉戴した同校では全数員、三された、奉戴した同校では来でいる二十日奉載式を撃行する豫

民族協和、日浦一心一體、與 型、世界の大同和平等の諸項 目につき其の大精神を道破せ るもので用語は離戯莊重或は は卑近なる事例により見彙に も口誦む中に高遠な建國精神 を含味しげら望翼贊せんとす る感情を齎しめるものを募り 素強主義排撃に関しては共産

市内説町の高野山金剛寺では来る十三国の降誕の聖日に當るので左の通り索讃會を催すこと、なり檀信徒は例年より一層盛大にしやうと開教監督を始め治線各地の布教師を招じ敷め治線各地の布教師を招じ敷

▲正午 率納和體御詠歌 (修 一時 來讚法要 (平座理趣 三味) 金剛寺住職挨抄 三味) 金剛寺住職挨抄 三味) 金剛寺住職挨抄 三味) 金剛寺住職挨抄 (二) 國歌率唱| 御詠歌 二 (二) 國歌率唱| 御詠歌 二 (三) 總代批話人代表、 來讚文朗讚 (四) 視醉(五) 後行講員代表(六) 帶教婦 七反●奉讀講演 - 來尾禪山 七反●奉讀講演 - 來尾禪山 北京 (本) 衛教婦

| 國都新京に生れた本格的な音響関ー新京市民音樂會は すでに去年その試画的演奏質を開いたことがあつたが愈よ準にま年をの対画的演奏質を開いたことがあつたが愈よ準にの如き曲目をもつて第一回記の如き曲目をもつて第一回記の如き曲目をもつて第一回記の如き曲目をもつて第一回記の加き曲目をもつて第一回記の加き曲目をもつて第一回記の加き地間を開催することとなった。同音樂會は會員に済人をも有し日満協力による文化の向上、團體的協同の美はしい成果を創り出すことを目

反海抗日のスローガン中抗

百階を展練される

電業、電々戰延期

北平學生界の動向は注目す

「保養機にて十五、六兩日毎日 保養機にて十五、六兩日毎日 中前九時から午後六時まで中 東通講藝新京圖書館に於て開 住されるが今まで公開された ことのない講談靱境の寫眞敷

共産 意されるさうである 共産 意されるさうである

五日夜入京

多くの期待がかけられてゐる 樂技能者を糾合し長期に亘る 樂技能者を糾合し長期に亘る

北平の大學生

北平西郊に通り

る西直門は堅一級國通)今朝來

又復不穩

静岡縣人會でも大々的歡迎

御眞影點

H

の理想たる東洋道徳の宣揚、神作興に關しては繭洲枫建國

八島校

御下

表 東京 東京 東京の負傷者を出した、急報 兵八の負傷者を出した、急報 兵八の負傷者を出した、急報 と治安陽五十を併せ指揮し急 と治安陽五十を併せ指揮し急

建國精神を作與し

赤魔を趁

協和會で懸賞標語を募集

豪雨最中

0

建國記念

大運

出水騒ぎ

戦、之を撃滅した河村〇園麾織送中淸河域に於て距園と激

者氏名は左の如く判明した下喜多部隊、田中○隊の戦傷

來る十五日

の晝夜

午前九時から西公園運動場で、一種関記念の大運動會は十四日、建國記念の大運動會は十四日、一種の訪日宣記の大運動會は十四日、一種の大運動のである。

ら降り出した を待つてゐた に

降雨

なき限り决行

なき限り決行する模様である。つた西南を援助せよ」のスロら降り出した深雨のため天候、之は西苑にある清華、燕京廟ら降り出した深雨のため天候、之は西苑にある清華、燕京廟院催すべく既に準備成り當日。く閉され、一切の交通を遮斷

り大黒河方面を観察する豫定 な各方面を観察、十七日午前 京各方面を観察、十七日午前 でルピンよ

井口副官帶同、十四日午後九軍郷參鞭宮野村吉三郎大將は

野村大將今夜

7

家

弘法大師慶讚會

新京市民音樂會

公會堂で第一回發

表演奏會

H

1 ガンを揚げて校内に結束、 無性的三百名は私かに昨夜東 は昨夜以來のもので兩大學の は昨夜以來のもので兩大學の は昨夜以來のもので兩大學の は昨夜以來のもので兩大學の は昨夜以來のもので兩大學の は昨夜以來のもので兩大學の は昨夜以來のもので兩大學の は下夜以來のもので兩大學の は下夜以來のもので兩大學の は下夜以來のもので兩大學の は下夜以來のもので兩大學の は下夜以來のもので兩大學の は下夜以來のもので兩大學の

蒙滿寫眞展 協會主催ルルルル 東亜田嵩

祝町高野山金剛寺で

土屋格

(本籍千

者輸送機か

職送機が収容に向った を加へて居るが率天より患 負傷者は城廠に於て應急手

り午後三時多大の收穫を得後に高山社會主事の挨拶が

【奉天國通】城殿○○○殿管 下喜多部陸川上討伐陸の田中 ○際は十二日午前五時糧食輸 送の為該地を出發、清河城附 送の為該地を出發、清河城附

同同同步負 二等兵

二等兵

葉縣) 本籍千

死醫學 昨日白菊會館で第一 人團 七十名出席の盛况 體聯 盟

一、應募範閣 日滿方 一、應募範閣 日滿方 一、無務面 日語 滿語 一人十籌以內 一、應募範閣 日滿方 一、無數

日 田瀬文蘇人全 昭和十一年七 昭和十一年七 田語 南語 一年 一年七 田語 一年 一年 一年 一年 一年 一年 七 田瀬文蘇人全

本架なけらた目に特別目最め見える内閣

左の如き應募規定による を関るものを求める

のを求めるが、共産体祭

九

日 0)

皆既 H

食

の見える

地帶

バリ龍業 再び悪化の形勢 ・ ト

ス空前の大龍紫も漸次錐節に 議事堂前に押寄せ我等の要求 「一の胸目にはパリ市内各所に て無勢を察げ復葉した一部勢 於て未だ復葉せ以罷葉園員數 働者も之に呼應して再び罷薬 一本名が赤鍼を掲げインターナ 大の胸目にはパリ市内各所に で無勢を察げ復葉した一部勢 がで未だ復葉せ以罷業園員数 働者も之に呼應して再び罷薬 で無勢を察げ復葉した一部勢 で無勢を察げ復葉した一部勢 で無勢を察げ復葉した一部勢 で無勢を察げ復葉した一部勢 で無勢を察げ復葉した一部勢 で無勢を察げ復葉した一部勢 で無勢を察げ復葉した一部勢 で無勢を察げる

の上もない

折中尉の令兄に當る人、民政難の御婚さんに選ばれた趙國務洲國皇帝陛下御令妹四格々 趙中尉の令兄

糧秣輸送の田

匪賊ご遭遇大激戦

皇軍二名戰死し八名負傷す

十二日清河城に

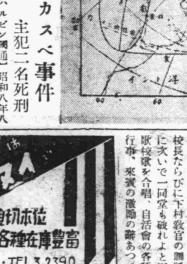
部防疫科長趙國仁氏を訪へば 部防疫科長趙國仁氏を訪へば がは知喜びの面持で語る 弟は勿論一家中光榮この上 なく感激致して居ろ次第で で近く決定した、結納は十四日の がら父も來でみましたし、畏くも皇 で近く決定した。結納は十四日の がら父も來でみません、要夫 がら父も來でみません、要夫 がら父も來でみません、要夫 をとなつであましたし、 を表すが結婚に なく内輪の事ですからと思めます。 で近く決定した。 がら父も來であまりました。 を表するません、 を表するません、 を表するません、 を表すると思めます。 であまります。 を表すると思めます。 であまります。 を表すると思めます。 を表すると思めると思めると思めると思める。 を表すると思めると思める。 を表すると思める。 を表する。 を

(一) 第一 (三) 第一 (三) 第一 (三) 第一 (五) 第一

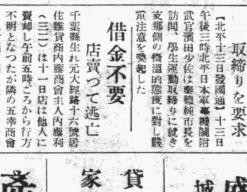
「ハルビン関通」昭和八年八 日末身代金奪取を目的として リステントのコダヤ人薬商カス で、1000年の100円である。 「日本身代金奪取を目的として リステントのコダヤ人薬商カス

次言渡しがあつた 決言渡しがあつた 決言渡しがあった。事件の犯人ギャン 年後の十三日午前左の如く判 大大院に於て詳細取調ベ中で が一味に就てはその後當地地 を登の十三日午前左の如く判 を で 却つて みた したが、官憲の探 がマ人豪商カス

村教官の概評を受け朝食を共一 同はまつ皇居を適拜校長、下 同はまつ皇居を適拜校長、下



店賣って逃亡



設間場

產婆 常 計 田

3

迄

電話三一四五八三答

モダン銀座

轉向は 多忙に付至急面談有たし カフェー部 ン サー 養成十名 ン サー 増具三十名 女給三十名

面會場所記念公會堂脇

鐵諸官衙御指定 金銀犀 風 新京安達街一〇八號

74 センダン 日の 間



各種豐富入荷 是非御一覧を 3 3

天津學生等も不穏 天津學生等は十三日 動態的な動を示してゐる 動性が必要ない。 一中止、和平動告等は皮肉にも 動性が必要ない。 一中止、和平動告等は皮肉にも を持ている。 一中止、和平動告等は皮肉にも のなを収上げて學生を使喉慢 から開始する
日延期十四日午後三時三十分ら開始のところ降雨のため一ら開始のところ降雨のため一ち開始のところ降雨のため一ち開始のところ降雨のため一ちでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、 大日木陸上選 郷の途に上る の途に上る 金二十五圓より

一、天國と地獄一、天國と地獄一、天國と地獄一、チェロ獨奏ハンガリアアルト 作曲 チェルトド曲 ほ曲 ア曲 吉林 張總理夫人の危禍

大変の活躍をついけてゐるがで東京する選手の歓迎準備にで東京する選手の歓迎準備に

選手が小池君を始め九名もみでは大歌迎會を催さうと幹水 では大歌迎會を催さうと幹水

同乘の山威喬六夫人は無事

の場合を表する。
のでは、

無類イチ環ツンスルチコミ ミサレンコ・

昨夜舍營訓練 本長張伯齢氏が南京に赴き連 ・ 大田 整備は暴に天津 単海大學 を長張伯齢氏が南京に赴き連 ・ 大田 を開ける。 ・ 大田 を開ける。 ・ 大田 を開ける。 ・ 大田 を開いる。 ・ 大田 を用いる。 ・ 大 午前十時四十分永定門の

御買上金五圓(商品等) 二本二等金五拾圓(商品等) 二本二等金五拾圓(商品等) 二本二等金五拾圓(商品等) 二本二等金五拾圓(商品等) 二本

等五四 外等等

寶金金

炎五拾

(商品等)

六二十本本

2

券

枚

進

呈

林支店開設記念を兼ね店二周 年謝 恩のため

福引景品付大賣出

演習は降雨のためやむなくこ 定だつた新京青年學校の露營 生の進あり、支那側雷局に於一種極化しつとあつたもので當一種極化しつとあつたもので當一種を大學間に於ても北平學生

【北平十三日登園通】 秦總・ 地で市長は十三日午前十時祝 地で市長は十三日午前十時祝 地で大を日本大使館に派し本 の意を表せしめると共にこれ の意を表せしめると共にこれ 秦市長 大使館に陳謝

午後五時半武裝を整へた五 校講堂で含誉訓練を實施し

威策懲戒に當つてゐる

六月三十日まで

日

間

聯翩 岩間 商會實 石部

電話 ② 三〇四七番

新京中央通り二三(郵便局前)

濱田少佐 邦文タイピスト 名募集 高南舎部に田頭のこと 第司令部に田頭のこと 第司令部に田頭のこと 第司令部に田頭のこと 第一年 平 安町 京平 安町

城内一流の料理店譲たし

軍

モンテカルロ(ガ

スポー

In

御希望者の方は襲樂路三〇一號 取 所 ガス、風呂、便所完備
、 歴 二 間

新案特許「大

和

ときわ

聖師(2)長一四二九番

額

狮

7

富士町四ノ二大呼出(3)—三〇七九

▲上品な明るい家族的舞踏場

理料御







んだか前白いことが思りさうな気に

にお分機のお間を押間して、「ないない」とないよる値でこざいます。 が、いつも歴覚ばかりでは、お屋

知らればなりません。

感れてゐたまへ。 質が代りに合つ に動つてくれといふのだね。 そい

成品、それで今後もう一度君

はい地高い難でいつた。

こうに節観に入れますのは、

すると耕太郎は急に眉板をしかめずると耕太郎は急に眉板をして聞かせた、

用質されてゐた。

観冷は手つとり見く、ヴェラン

現れた。見ると、いつの間を

マールの中央に、黒い長方弦の行ぶ 現れた。見ると、いつの間にかま 現れた。見ると、いつの間にかま

まかしたまへ。何かあの女から聞いまかしたまへ。何かあの女から聞い

出ていたさきたいと答じます。とかいか御婦人のおがにおした。こへへ

に入れることに致しました。どな

比感 に繋を大にして中上げなの家族の方」は、もう一度再駆励 に要なったことのある人」と「一度 に概念をやつたことのある人」と「一度 になった」と「その家族の方」は、もう一度再駆励 しいのであります。

き出してやる。」

されを聞くと、ホールのあちこ ちで拍子がおこつたっついで、

用度法療質學法療素於れる。

概義と體泰に效果絕對幹選

つけて概を行した。すると近くに

ければよろしいのでございます

カーテンの外へ川た財太郎は、

せんの内、ちつと立てるてさへ歌

網寒冷紗裏

ねる一體どんな話をしてゐたんだ

「対が今話してゐたのは除子だ

概太郎はマスクのうしろでにや

袁村

れぞれ冷たい飲物で混を極やしてある空いたテーブルに退いて、そ 先刻まで、あんなに贈り任つて 今日島座の連中の絵画がはじまら

ではちらとカーテンの後をの をって思惑なことに、そこには歌ったっ不思惑なことに、そこには歌ったっていつ。 れて、様代の数は見えなかつた。 と 様切ったが、 珍しい人被にもまったが、 珍しい人被にもまった。 る。よいにカーテンの後から低いルの間までたどりついた時であ かの関すでたどりついた 時であ 「おい、こちらへ」

き寄術だつた。 それがすむと、マスクをつけた せて、若い娘たちの、鰹い小手先 うとしてゐるところだったっ

> け 冶療法

> > るな

京鍼灸治

灸治療院

射

は治ら

一、現在関係を受けてあられるは六〇六號、茶鈴、水銀の製たは六〇六號、茶鈴、水銀の製作就で次の事を知つて野出ばなりません。この社財票は自然を作つて野出婚者するもので硬結でかっ、這入れば閉二期と新いのであります。初期便結以後、街が血液が、これ以後の機様は閉二期と耐へまっか、これ以後の機様は閉二期と耐へまっ。社財を五本十本と重ねてもん。社財を五本十本と重ねてももの手段ではなかー〜治りません。社会を表した。

大楽 察法、競貨隊はとは何か中の沃索及び抗毒素を引生地強します。そして批判験の残跡し難い。 一本の沃索及び抗毒素を引生地強します。そして批判験の残跡し難い。

置され、再設の高根を全く一つす

の方に申しげます。

犬箱取 全 条 建 用 專

一大音、大箱、國人概 ●大音、大箱、國人概 ● 國間新京大備病院長 東五條通四番地 東五條通四番地

三一二五三六

大分讓新京犬猫病院東西東三條通鴻鐵病院東隣

症應適 は 神神脚睾麻中

イャ街(永樂町一ノ四)野山洋行前

産には

爽快な





醴狀 かき 物

四寸火鉢用 炭

特約店日本賣藥會社

ハ大ル連

婦人產前·產

五炊

高い洋煙草 M.C. 同 五十本入 お知らせ

30

知

識

眼

室究所都學醫大帝州九 Ø 强 一瓶にて効く 大大四大番

